# M
# ハンズフリーを使う



**初期登録設定** …… M-2
携帯電話を登録する……M-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する…M-5
携帯電話の割り当てを切り替える ……M-6
登録した携帯電話の自動接続を設定する……M-7
登録した携帯電話の優先接続の設定をする……M-8
本機のBLUETOOTH情報を確認する……M-9
デバイス名／パスキーを変更する ……M-9
**ハンズフリー電話を使う** …… M-10
電話を受ける（着信時の操作）……M-10
通話中の操作……M-11
電話をかける……M-12
発信中の操作……M-13
**ハンズフリーの通話設定** …… M-14
**携帯電話のアドレス帳を本機に転送する** …… M-15
**QQコールを利用する（有料サービス）** …… M-17
QQコールとは……M-17
QQコールを利用するまでの流れ……M-17
**QQコールを表示する** …… M-17
**Siri Eyes Free機能を使う** …… M-19
準備する……M-19
使用する……M-19

# 初期登録設定

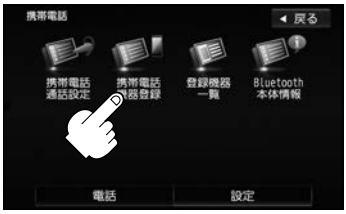
ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。

## 携帯電話を登録する

携帯電話の登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 携帯電話機器登録 をタッチする。

※ 携帯電話機器登録 は端末が追加登録可能な場合に選べます。




**2** ハンズフリー をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ ハンズフリー は端末が追加登録可能な場合に選べます。

**3** 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選ぶことで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行われます。

：接続待機中画面が表示されます。

※すでに登録済み(BLUETOOTH接続済み)の携帯電話(番号)がある場合、メッセージが表示されるので“はい”を選んでください。
“はい“を選ぶと現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選んだ場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、BLUETOOTHに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

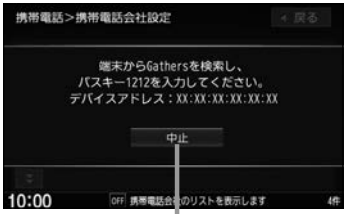
携帯電話会社設定画面

ご使用の携帯電話がドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、 その他 を選んでください。
本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/

## 4 携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面




※接続待機中に 中止 をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

アドバイス

- ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行ってください。
- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。

「(本機のBLUETOOTH情報を確認する)」M-9

## 5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

: 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行うことができます。
- 携帯電話は２台までハンズフリー登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。

情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ３本：電波状態良好

| 携帯電話のアイコン | 意　味 |
|---|---|
| BT 1 ／ BT 2 | 割り当てられている携帯電話（ 1 ／ 2 ）と電波状態（アンテナ本数多い程良好） |
| 圏外 | 圏外（電波は届いていません。） |

着信／発信／通話中のとき電波状態を表示

電池残量

※電波状態（アンテナの本数）は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。（良好でも圏外となることがあります。）
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

## 登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

**2** 詳細情報を見る、または削除する。

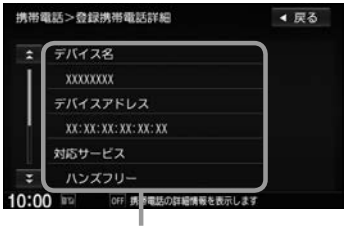
### ■ 詳細情報を見る

① 詳細情報を見たい携帯電話の 詳細 をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

携帯電話登録一覧画面

詳細情報画面




登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
（デバイス名*1／デバイスアドレス／対応サービス*2／携帯電話会社／自局番号を表示）
＊1･･･携帯電話に設定されている名称を表示します。
＊2･･･登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。
※お手持ちの携帯電話の自局情報（プロフィール）に絵文字を使用している場合、本機では“_”（アンダーバー）で表示されます。
※本機に表示される名称（デバイス名）は登録時のものとなります。携帯電話側で名称（自局情報）を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。
※自局番号（携帯電話の電話番号）が取得できた場合には、その番号も表示します。（取得できなかった場合には“ー”（ハイフン）で表示されます。）

### ■ 削除する

① 削除したい携帯電話の 削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話画面に戻ります。

携帯電話登録一覧画面

アドバイス
2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

**3** **設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。**

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 携帯電話の割り当てを切り替える

**接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。**

※携帯電話は２台まで登録が可能ですが、常時接続できる携帯電話機は１台です。

**1** **MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。**

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

**2** **割り当てたい携帯電話の 接続する を タッチする。**

：メッセージを表示しBLUETOOTH接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、BLUETOOTH切断を行ったあとに割り当てを変更します。

携帯電話登録一覧画面

**3** **設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。**

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 登録した携帯電話の自動接続を設定する

**携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。**
※初期設定は“する”に設定されています。

### 1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

### 2 自動接続の設定をする。

| | |
|---|---|
| する | ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続 |
| しない | ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しない<br>※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。 |

携帯電話登録一覧画面

### 3 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 登録した携帯電話の優先接続の設定をする

**登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。**

### 1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

### 2 優先したい携帯電話の 優先する をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると 優先する は選べません。

携帯電話登録一覧画面(例)

### 3 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 本機のBLUETOOTH情報を確認する

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を表示

## デバイス名／パスキーを変更する

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

**2** ■ デバイス名を変更する

① デバイス名変更 をタッチする。

② 英数字でデバイス名を入力し、決定 をタッチする。

■ パスキーを変更する

① パスキー変更 ➡ ハンズフリー をタッチする。

② 数字でパスキーを入力し、決定 をタッチする。

アドバイス 安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

# ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話を行うには、あらかじめ携帯電話を本機に登録・接続しておく必要があります。

## 電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。

着信中画面

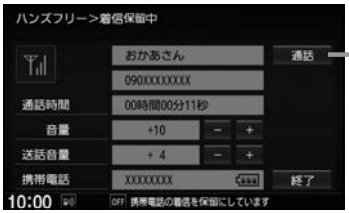
電波状態を表示

携帯電話の名称と電池残量を表示

相手の名前、電話番号を表示
(名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示)

呼び出し音の音量を調整

### 1 操作したいボタンを選んでタッチする。

| | |
|---|---|
| 開始 | 通話が開始され、通話中画面が表示されます。 |
| 保留 | 相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。<br>着信保留中画面<br>  <br><br>電話に出る<br>※着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。(対応していない携帯電話では 保留 をタッチすると切断されます。)<br>※保留中も相手には通話料金がかかります。 |
| 終了 | かかってきた電話を応答せずに切ります。 |

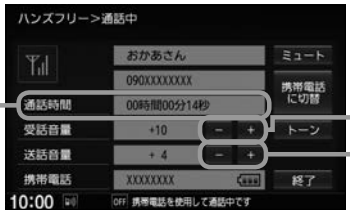
アドバイス

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

## 通話中の操作

**通話が始まると通話中画面が表示されます。**

通話中画面




通話時間を表示

相手の声(受話音量)を調整

相手に伝わる自分の声(送話音量)を調整

### 1 操作したいボタンを選んでタッチする。

| | |
|---|---|
| ミュート | 自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。)<br>※ミュートを行うと、ミュートが通話に変わります。<br>通話をタッチすると、再度自分の声が相手に聞こえるようになります。 |
| 携帯電話に切替 | ハンズフリー通話をやめて、携帯電話での通話に切り替えます。<br>※携帯電話に切り替えると、携帯電話に切替がカーナビに切替に変わります。カーナビに切替をタッチすると、ハンズフリー通話になります。 |
| トーン | 0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されるので、タッチするとトーン入力が行えます。<br>※安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。 |
| 終了 | 通話を終了し、電話を切ります。 |

アドバイス

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
  ※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。

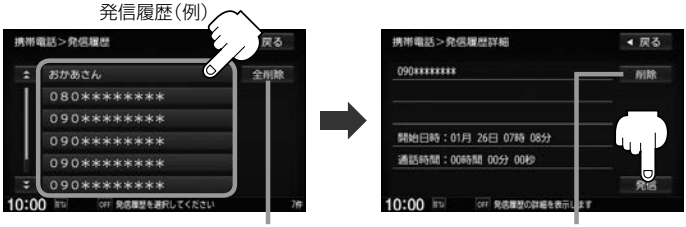
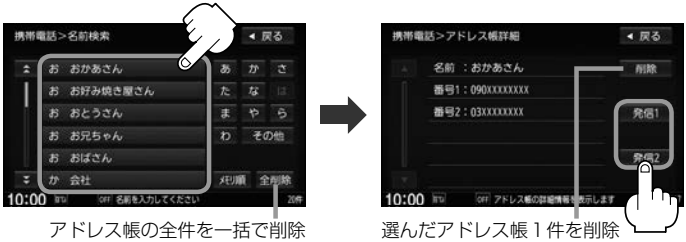
**通話中の地図画面表示について**

- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、 MENU ➡ 携帯電話 をタッチしてください。
- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整は無効となります。

## 電話をかける

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 をタッチする。

**2** 電話をかける方法を選んでタッチする。

| | |
|---|---|
| 電話から | 0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されます。<br>電話番号を入力して 発信 をタッチ<br>※36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。 |
| リダイヤル | メッセージが表示されるので、 はい をタッチ<br>：前回電話をかけた番号に発信します。<br>※発信履歴がない場合、 リダイヤル は選べません。 |
| 発信履歴 ／ 着信履歴 | 履歴リストが表示されます。<br>① 履歴リストから電話をかける相手を選んでタッチする。<br>② 発信 をタッチする。<br>発信履歴(例)<br>  <br><br>発信履歴画面の場合は、発信履歴を一括で削除　　選んだ履歴１件を削除<br>※履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選べません。 |
| アドレス帳から | アドレス帳画面が表示されます。<br>※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。<br>（アドレス帳にリストが１件もない場合は、アドレス帳から発信できません。）<br>① リストから電話をかける相手を選んでタッチする。<br>② 発信1 ／ 発信2 を選んでタッチする。<br>  <br><br>アドレス帳の全件を一括で削除　　選んだアドレス帳１件を削除 |

アドバイス

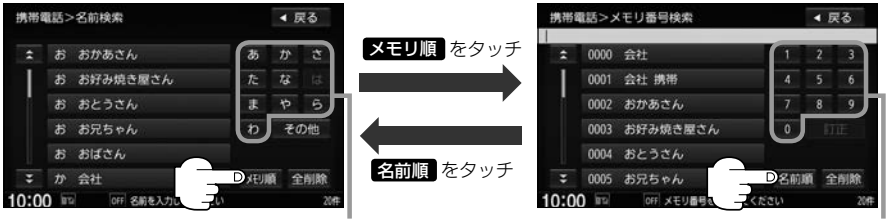
走行中は発信操作が制限されます。

**発信履歴／着信履歴について**

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。（施設名は表示されません。）
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

**アドレス帳画面について**

- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳に正しく50音割り当てされない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合があります。
- **メモリ順** をタッチするとアドレス各件に振られているメモリ番号の順にリストを並べ替えて表示します。




タッチしたひらがなのアドレス（名前）を表示

タッチしたメモリ番号のアドレス（名前）を表示

ハンズフリー

## 発信中の操作

**電話をかけると発信中画面が表示されます。**

発信中画面

相手の名前、電話番号を表示
（名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示）

呼び出し音の音量を調整

発信を中止する

アドバイス

接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。（例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。）

# ハンズフリーの通話設定

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 携帯電話通話設定 をタッチする。

**2** 設定したい項目を選んでタッチする。

| | |
|---|---|
| **発着信音量** | 呼び出し音の音量を設定します。<br>＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。 |
| **受話音量** | 通話中の相手の声の音量を設定します。<br>＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。 |
| **送話音量** | 通話中の相手に伝わる自分の声の音量を設定します。<br>＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。 |

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。

# 携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

**アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。**
**本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。**

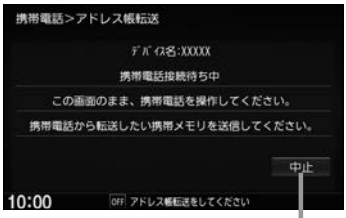
## 1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 ➡ 携帯メモリ読み出し をタッチする。

アドバイス

- お使いの携帯電話の機種によっては、 携帯メモリ読み出し をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)この場合、手順 3 に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- BLUETOOTH Audio機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

## 2 携帯電話を操作して、転送したいアドレス帳を選んでデータ送信を開始させる。

携帯電話接続待ち中画面




読み出しを中止

※アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。
追加保存 ／ 上書き保存 を選んでタッチしてください。
上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。

## 3 アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、 終了 をタッチする。

ハンズフリー

アドバイス

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。（転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。）
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり（1台あたり最大1500件）、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。（故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。）
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。（携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。）
- 読み出しできる文字数·桁数は、名前：全角9文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送（一括送信）をすると携帯電話の機種によってオーナー番号（お客様自身の番号）も登録される場合があります。

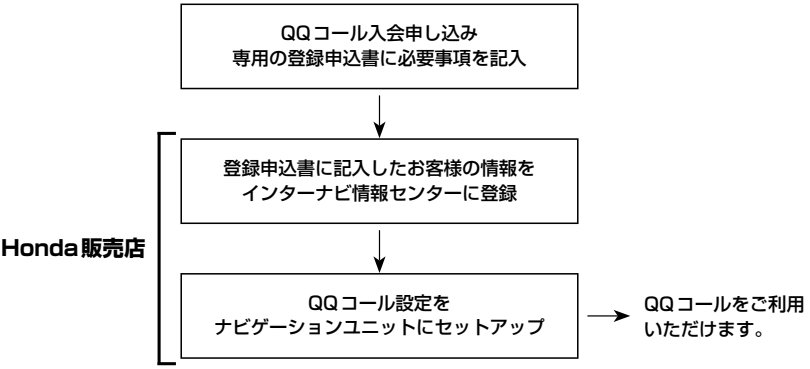
# QQコールを利用する(有料サービス)

## QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料のロードサービスのひとつで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/qqcall/

## QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。
QQコールセンターへの連絡には通話料がかかります。






# QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。
QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

**1** MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 ➡ QQコール をタッチする。

：QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

## 2 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

### ■ 携帯電話が本機にBLUETOOTH接続されている

① **発信** をタッチする。

※走行中、**発信** はタッチできません。

現在地のマップコード

※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、**通話終了** をタッチする。

### ■ 携帯電話が本機にBLUETOOTH接続されていない

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。

電話番号

現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。

---

アドバイス

- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
  - ・地図表示(方位)の切り替え　・地図の拡大／縮小　・地図スクロール
  - ・オーディオモードの音量調整　・オーディオモードのON／OFF
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQコール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

BLUETOOTH接続時のQQコール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

# Siri Eyes Free機能を使う

**Siri Eyes Freeは、iPhoneを本機とBLUETOOTH接続し付属のマイクに話しかけることにより、手で操作することなくiPhoneが利用できる機能です。**
※利用できる機能に制限がかかる場合があります。利用できる操作はお使いのiPhoneによります。

## 準備する

**Siri Eyes Free機能はiPhone 6、iPhone 6 Plus、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4sでご利用になれます。**
**iOS6.1.3以降をご利用ください。(2015 年4月現在)**
**あらかじめiPhoneを本機とBLUETOOTH登録・接続する必要があります。**

## 使用する

### 1 iPhoneのSiri機能をオンにする。

※詳しくはiPhoneのユーザガイドなどをご覧ください。

### 2 AUDIO またはオーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE ) を長押しする。

：Smartphone VR画面が表示されます。

### 3 ピピッと音が鳴るのでマイクに向かって発話する。

※再度ピピッと鳴り、Siri Eyes Free機能が動作します。

※再度発話する場合は、以下いずれかの操作をして発話してください。

- AUDIO をタッチ
- をタッチ
- オーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE )を押す

VRM-165VFEi(例)

### 4 Siri Eyes Free機能を終了するには、AUDIO またはオーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE ) を長押しする。

アドバイス

- Siri Eyes Free起動中でも 現在地 や MENU をタッチすると、地図画面やトップメニューに切り替えることができます。地図画面などでもSiri Eyes Free機能はご利用になれます。
  Smartphone VR画面に戻るにはトップメニューの Smartphone VR をタッチします。

VRM-165VFEi(例)

- 走行中などの使用状況によっては、iPhoneが音声を認識できない場合があります。
  例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境
- iPhoneの電波が届きにくいところでは、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンスイッチをロックに入れているときにiPhoneでSiri機能を起動し、その後エンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると、本機のSmartphone VR画面が表示されない場合があります。その場合はSiri機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri起動中であっても、iPhone側の動作状態によっては、Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio接続中のiPhoneに対し、楽曲再生指示を行い、BLUETOOTHより再生が開始された場合は、自動的にSiri機能を終了して、本機のBLUETOOTH Audioソースに切り替わります。
- オーディオ再生中にSiriを起動した場合、楽曲再生指示を行わなくても、本機がBLUETOOTH Audioソースに切り替わる場合があります。
- iPhoneがUSB接続中の場合、Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio再生開始時、iPhoneが読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iOSのバージョンによっては、Siri Eyes Freeの終了に時間がかかる場合があります。
- 電話発信指示が行われたことによるハンズフリー通話は、発信履歴には保存されません。
- BLUETOOTH Audioソースから再生が開始されない場合は、iPhone出力先から音楽が再生されます。
- 本機とiPhoneを接続中に、iPhone側からSiriを起動しないでください。Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- オーディオ リモコン スイッチの操作は車両によって異なる場合があります。
- Siri Eyes Free起動中は、オーディオの音声はでません。
- Siri Eyes Freeが起動しないときは以下を確認してください。
  - ・Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneがハンズフリー登録されていること。
  - ・iPhoneのSiri機能がオンになっていること。
  - ・本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行う。

# N 困ったとき

故障かな？と思ったら……N-2
こんなメッセージが表示されたら……N-21

# 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

## 共　通

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| 音が出ない。 | 音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。 | [▼]／[▲](VOL)で調整してください。 | H-2 |
| | 音質・音量バランスが片方に寄っている。 | フェード・バランスを正しく調整してください。 | H-44 |
| | 本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 | 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。 | – |
| | Siri Eyes Freeが起動中である。 | Siri Eyes Freeを終了してください。 | M-19 |
| 低音が聞こえにくい。 | サブウーファーの音量バランスがずれている。 | サブウーファーの音量を調整してください。 | H-44 |
| 本機に登録されていた情報が消失している。 | ● 本機の使用を誤った<br>● ノイズの影響を受けた<br>● 修理を依頼した<br>などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。 | 消失したデータについては補償できません。 | – |
| ディスクが出ない。<br>ディスクを読み込まない。 | ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。 | ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。<br>※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。 | O-32 |
| タッチパネルが操作できない。 | タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。 | 保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。 | – |
| 音が勝手に大きくなる、または小さくなる。 | 車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。 | 車速連動音量をOFFに設定してください。 | H-48 |
| ディスクを取り出したときディスクが熱い。 | 本機を長時間使用していた。<br>ディスクを長時間再生していた。 | 長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。 | – |

## モニター

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **映像が出ない。** | 走行している。 | 走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。 | — |
| | 明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。 | 明るさ／コントラストを調整してください。 | 0-24 |
| | 画面が消えている。 | 画面をタッチして、画面を表示させてください。 | — |
| | HDMI／VTRソースになっている。 | 外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。(HDMI／VTR未入力時は黒い画面になります。) | — |
| **表示が暗く見づらい。** | 車両側のオートライトが働いている。 | 画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないと画面は明るくなります。 | — |
| | 昼夜切替 をタッチして画面の輝度を切り替えている。 | 昼夜切替 をタッチして解除してください。 | 0-25 |
| **画面が乱れる。** | 液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。 | 携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。 | — |
| **画面が曇る。** | 雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。 | まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。 | — |
| **DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。** | 調整がずれている。 | 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。 | 0-24 |
| **映像にはん点やしま模様が出る。** | ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。 | 妨害電波を受けない場所に移動してください。 | — |
| **液晶パネルに黒点や光る点がある。** | 液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。 | 故障ではありませんので、そのままご使用ください。 | — |
| **リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。** | 音楽関連の画面は表示されません。 | 故障ではありません。<br>リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやDigital TV、iPodビデオなど)となります。 | 0-42 |

## 自車マーク関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| 平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。 | 画面が煩雑（複雑）にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。 | 故障ではありません。 | – |
| 現在地が正しく表示されない。 | 走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。 | GPS衛星電波を受信してください。 | O-2 |
| 自車を移動させても地図がスクロールしない。<br>自車マークが表示されない。 | 現在地表示になっていない。 | 現在地 をタッチしてください。 | – |
| 走行すると道路が消える。 | 走行中は細街路を表示しません。 | 故障ではありません。 | – |
| 地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。 | GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。 | アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。 | – |
| | GPS衛星の受信感度が悪い。 | GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 | – |
| 自車位置精度が悪い。 | タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。 | しばらく（およそ30 km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。 | – |
| | GPS内蔵レーダー探知機を設置している。 | 本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。 | – |

## 音声案内関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| 音声案内しない。 | 探索されたルートを外れている。 | 探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。 | D-4 |
| | ルート案内が停止になっている。 | ルート案内を開始してください。 | D-12 |
| | 消音 をタッチして音声を出なくしている。 | 消音 をタッチして解除してください。 | F-13 |
| 実際の道路と案内が異なる。 | 音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。 | 実際の交通ルールに従って走行してください。 | – |

## 目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **再探索時、経由地を探索しない。** | すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。 | 通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。 | − |
| **ルート情報が表示されない。** | ルート探索を行っていない。 | 目的地を設定し、ルート探索を行ってください。 | D-4 |
| | ルート案内が停止になっている。 | ルート案内を開始してください。 | D-12 |
| **ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。** | 自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示） | 探索されたルート上を走行してください。 | − |
| **自動再探索ができない。** | 道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。 | 探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。 | D-17 |
| **経由地が設定できない。** | すでに経由地を5カ所設定している。 | 経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。 | − |

## ルート探索関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **探索されたルートが表示されない。** | 目的地の近くに道路がない。 | 目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。 | − |
| | 出発地と目的地が近い。 | 故障ではありません。 | − |
| **遠回りな自動ルートを探索する。** | 探索では、広い道路を優先して使用する場合があるため、遠回りなルートになることがあります。 | 故障ではありません。 | − |
| | 出発地、目的地付近の道路に規制がある（一方通行など）ときに遠回りのルートを出すことがあります。 | 出発地や目的地を少しずらして設定してください。<br>または、通りたいルートに経由地を設定してください。 | − |
| | 細街路※を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。 | 故障ではありません。 | − |

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

## ルート探索関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **遠回りな自動ルートを探索する。** | 車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。 | 故障ではありません。 | – |
| **ランドマークの表示が実際と異なる。** | 地形データの不備や誤りにより起こることがあります。 | 地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。 | – |
| **出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。** | 地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。 | 近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。 | – |
| **意図したルートとは違うルートが引かれる。** | 目的地の近くに探索可能な道路がない。<br>目的地を建物の中心に設定している。 | 目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。 | – |
| | 中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。 | 一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。 | – |

## VICS関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **VICS情報が表示されない。** | VICS情報を受信していない。 | 情報を受信していないときは、表示できません。 | – |

## カメラシステム関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| フロント・コーナーカメラ映像が出ない。 | 高速で走行している。 | 低速で走行してください。 | – |
| リアカメラ映像が出ない。 | セレクトレバーがRの位置になっていない。 | セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。 | – |
| カメラ映像の映りが悪い。 | レンズカバーが汚れている。 | 水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。 | – |
| カメラ映像に白い光の縦線が入る。 | 太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。 | CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。 | – |
| | 車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。 | | |
| カメラのガイド表示が出ない。 | ガイド表示が設定されていない。 | Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。 | – |
| | ガイド表示が“OFF”になっている。 | コーナーカメラのガイド表示の場合は、画面をタッチして ガイドON をタッチしてください。 | G-10 |
| | | リアカメラのガイド表示の場合は、セレクトレバーがR(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。 | G-14 |
| | フロントカメラはガイドを表示しません。 | – | – |
| カメラのガイド表示が正しく合っていない。 | ガイド表示が正しく調整されていない。 | Honda販売店での調整が必要です。 | – |
| | 乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。 | 平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。 | – |

## CD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **CDソースに切り替わらない。** | ディスクが挿入されていない。 | ディスクを挿入してください。 | – |
| **● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。**<br>**● 音が飛んだり音質が悪い。** | ディスクに問題がある。 | 他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。 | – |
| | ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 | ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。 | O-32 |
| | ディスクにラベルが貼ってある。 | ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。 | – |
| | CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。 | 書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。 | – |
| **ディスクが入らない。** | 結露している。 | 本機をしばらく放置してから使ってください。 | – |
| | すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。 | 入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。 | – |
| **CD-RやCD-RWを再生できない。** | ディスクがファイナライズされていない。 | ディスクをファイナライズしてください。 | – |
| **ディスクを取り出したときディスクが熱い。** | ● 本体を長時間使用していた。<br>● ディスクを長時間再生していた。 | 長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。 | – |

## CD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **MP3／WMAファイルを再生できない。** | CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。 | CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。 | – |
| | MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 | MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。 | – |
| | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 | – |
| | 対応していないビットレートで記録されている。 | 対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。 | O-46 |
| **再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。** | MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 | ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。 | – |
| **再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。** | ファイルの形式と拡張子があっていない。 | ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。） | – |
| **聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。** | MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 | MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。 | – |
| **フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。** | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 | – |
| **ファイル再生が記録した順と異なる。** | MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。 | ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。 | – |
| **CDのタイトル情報が異なって表示される。** | Gracenoteデータベースは全てのタイトル情報の取得、正確性を保証するものではありません。（同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。） | カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。 | I-8 |

## ラジオ

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **自動選局ができない。** | 強い電波の放送局がない。 | 手動で選局してください。 | H-9 |
| **放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。** | トンネルの中など放送局の電波が弱い。 | 場所を移動し、手動でリスト更新してください。 | H-11 |
| **“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。** | 放送局の電波が弱い。 | 他のチャンネルを選局してみてください。 | H-9 |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。 | – |
| **ラジオの入りが悪い。** | エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。 | 車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。 | – |
| | 本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 | 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。 | – |

## iPod

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音声が流れない。** | iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。 | iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。 | – |
| **正常に動作しない。** | 接続不良。 | USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。 | H-17 |
| | 再生可能なデータがない。 | 再生可能なデータをiPod本体に転送してください。 | – |
| | iPodのソフトウェアバージョンが古い。 | iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。 | – |
| | iPodが正常に動作していない。 | iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。 | – |
| **iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。** | iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。 | オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。 | – |

## iPod

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **ビデオ再生しない。（映像がでない。）** | ケーブルを正しく接続していない。またはiPod本体に付属のケーブルを使用している。 | 音声・映像を再生させる（出力させる）には、別売のiPod接続コードに別売のUSB接続ジャックとVTRコードを全て接続する必要があります。 | H-17 |
| **選択できないビデオがある。** | アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。 | 本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。 | — |
| **ビデオが途中から再生する。** | 各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。 | リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes＊1で再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。 | — |
| **ビデオ再生ができない。** | iPodがビデオ再生に対応していない。 | Lightningケーブルで接続するiPod／iPhoneでは、ビデオ再生できません。 | — |
| | iPodのソフトウェアバージョンが古い。 | iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。 | — |
| | 別売のiPod接続コードで接続されていない。 | ビデオ再生するには、別売のiPod接続コードで接続してください。 | — |
| **ジャンルが正しく表示されない。** | iPod／iPhoneが間違ったデータを送信している。 | iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。 | — |
| **再生中のタイトルが正しく検索されない。** | iPod/iPhoneが間違ったデータを送信している。 | iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。 | — |
| | タイトル情報が入っていない曲を検索している。 | タイトル情報が入っていない曲はiPod／iPhoneの機種／バージョンによっては検索ができない場合があります。 | — |

＊1…Apple社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

## Music Rack

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **CDを再生しても、自動で録音されない。** | 録音設定が“手動録音”に設定されている。 | 録音設定を“自動録音”に設定してください。 | I-2 |
| | MP3／WMAを再生している。 | MP3／WMAは録音できません。音楽CDが挿入されているかご確認ください。 | — |
| **録音できない。** | 本機の容量が不足している。 | 使用状況を確認してください。録音済みの曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。 | I-11 |
| **録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。** | 再生選択画面で再生させない設定にしている。(✔印を消している。) | ✔印を付けてください。 | H-39 |
| **録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。** | 録音曲数が多い。 | 曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。 | — |
| **現在地をタッチしても現在地が表示されない。** | Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中である。 | 更新後または初期化後にタッチしてください。 | — |
| **ジャケット写真を登録できない。** | 登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。 | — |
| **ジャケット写真が小さく表示される。** | 登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 | 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。 | — |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **SDカードを初期化できない。** | 誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 | SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。 | — |
| **再生画面を表示しない。** | SDカード未挿入／USB機器未接続である。 | SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。 | — |
| **再生が始まらない。** | SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。 | SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。 | G-20 |
| | 本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。 | 再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。 | O-33、O-34 |
| | | 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 | O-44、O-48、O-49 |
| | 動作モードが間違っている。 | 再生したい動作モードを選んでください。 | H-19 |
| | 結露している。 | SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。 | — |
| **再生が始まるまでに時間がかかる。** | SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 | ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。 | — |
| **再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。** | ファイルの形式と拡張子があっていない。 | 拡張子を確認してください。 | O-44、O-48、O-49 |
| **ファイルを認識しない。** | フォルダ名、ファイル名が長すぎる。 | フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。 | — |
| **ファイル再生が記録した順と異なる。** | SD／USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。 | SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。 | — |
| **MP3／WMA／AACファイルを再生できない。** | 対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。 | O-44 |
| | **音楽ファイル** を選んでいない。 | **モード切替** で **音楽ファイル** に切り替えてください。 | H-19 |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| MP3／WMA／AACファイルを再生できない。 | 著作権保護された音楽データで記録されている。 | 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。 | — |
| | SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。 | | |
| | UNICODEなど本機に対応していない文字コードでフォルダ名／ファイル名が付けられている。 | 本機に対応した文字コードでフォルダ名／ファイル名を付けてください。 | O-44 |
| JPEGファイルを再生できない。 | 対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。 | O-48 |
| | 画像ファイル を選んでいない。 | モード切替 で 画像ファイル に切り替えてください。 | H-19 |
| AACファイルを再生できない。 | AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。 | AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。 | — |
| MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される。 | Macで作成したファイルをSDカード／USBメモリーで再生している。 | Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。 | — |
| ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。 | ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送を行っている。ドラッグ＆ドロップ転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えません。 | ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生することができます。 | — |
| | | x-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送することができます。x-アプリまたはSonicStageのアプリケーションを使用して転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えます。 | — |
| USB機器を認識していない。 | 対応していないUSB機器の可能性があります。 | 別のUSB機器で試してください。 | — |
| | | 本機に対応しているウォークマン®か確認してください。 | O-37 |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **USB機器を認識していない。** | USB機器が正しく接続されていない。 | 正しく接続されているか確認してください。 | H-25 |
| | USB接続ジャックが正しく接続されていない。 | Honda販売店にお問い合せください。 | — |
| **ジャケット写真が表示できない。** | MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。 | iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 | — |
| | 登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。 | — |
| | 登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 | MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。<br>小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。 | O-45 |
| | 1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。 | 1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。 | — |
| **音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。** | 登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 | MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。<br>小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。 | — |
| **ジャケット写真が小さく表示される。** | 登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 | 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。 | — |

## HDMI(外部接続)

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音声が流れない。** | HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している。 | HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。 | — |

## DVD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **字幕が出ない。** | 再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。 | 字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。 | — |
| | 字幕がOFFになっている。 | 設定を変えてください。 | J-3 |
| **音声が出ない。** | 静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中である。 | 静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。 | — |
| **再生を始めない。** | ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。 | 記録面を下にして、正しくセットしてください。 | — |
| | ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 | ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 | 0-32 |
| | ディスクにラベルが貼ってある。 | ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。 | — |
| | 結露している。 | ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。 | — |
| | 本機で再生できないディスクを入れている。 | 本機で再生できるディスクを入れてください。 | 0-31 |
| | 本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。 | 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。 | — |
| | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 初期設定の視聴制限レベルを確認してください。 | J-9 |
| **“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。** | 再生しているディスクがその操作を禁止している。<br>ディスクの構造上対応できない操作をしている。 | 再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。 | — |
| **音声や映像が乱れる。** | ディスクに汚れ、キズがある。 | ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 | 0-32 |
| | 振動の生じるところで使用している。 | 本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがありあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。 | — |

## DVD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音声言語／字幕言語が切り替わらない。** | 再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。 | 故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。 | — |
| | 再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。 | 故障ではありません。言語を切り替えることはできません。 | — |
| **各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。** | 再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。 | ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。 | — |
| **字幕が消せない。** | 再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。 | 故障ではありません。字幕を消すことはできません。 | — |
| **各種設定で選んだアスペクト比にならない。** | 再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。 | ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。 | — |
| **アングルを切り替えることができない。** | 再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。 | 複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。 | — |
| | 再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。 | 故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。 | — |
| **タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。** | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 初期設定の視聴制限レベルを確認してください。 | J-9 |
| **視聴制限をしているのに、再生が制限されない。** | 再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。 | 故障ではありません。視聴制限をすることはできません。 | — |
| **視聴制限を解除できない。** | パスワードが間違っている。 | 正しいパスワードを入力してください。 | — |
| | パスワードを忘れてしまった。 | 「0000」と入力してください。 | — |
| **DVDメニューが外国語で表示される。** | “メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。 | “メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。 | J-6 |
| **VRディスクを再生できない。** | ファイナライズしていない。 | ディスクのファイナライズ処理をしてください。 | — |

## Digital TV

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **映像がでない。** | ●miniB-CASカードを挿入していない。<br>●miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。 | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | K-2 |
| **文字スーパーが出ない。** | ● 文字スーパーのある番組を選局していない。<br>● 文字スーパー表示設定で **表示しない** にしている。<br>● 受信モードがワンセグである。 | 文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。 | K-6 |
| **字幕が出ない。** | 字幕のある番組を選局していない。 | 字幕のある番組を選局してください。 | ― |
| | 字幕表示の設定がされていない。 | 字幕表示を設定してください。 | K-6 |
| **受信できない。** | 受信できる放送局がない。 | 再スキャンを行ってください。 | K-10 |
| **映像が止まったりモザイクがかかる。** | 電波が弱い場所で受信している。 | 自動切替に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。<br>※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。 | K-6 |
| **データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。** | データ取得中のためです。 | 多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。 | ― |
| **本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。** | ● 初期化を行った<br>● 本機の使用を誤った<br>● ノイズの影響を受けた<br>● 修理を依頼した<br>などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。 | 消失したデータについては補償できません。 | ― |

## BLUETOOTH Audio

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない。** | 本機との接続情報が消えてしまう。 | 再度登録してください。 | — |
| | BLUETOOTH Audio対応機器の設定が、BLUETOOTH接続待ちの状態になっていない。 | BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご確認ください。 | — |
| | 本機から接続を受けつけない。 | | |
| | 特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。 | | |
| **音楽が流れない。** | BLUETOOTH Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。 | BLUETOOTH Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。<br>対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。 | H-26 |
| | | BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。 | — |
| **BLUETOOTH Audio対応機器の操作を本機からできない。** | BLUETOOTHのリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。 | BLUETOOTH Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。<br>対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。 | H-26 |
| | | BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。 | — |
| ● **音が飛ぶ。**<br>● **操作がおくれる。**<br>● **再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。** | BLUETOOTH Audio対応機器が本機から離れすぎている。 | BLUETOOTH Audio対応機器を本機に近づけてください。 | — |
| | ハンズフリー、データ通信などを行っている。 | 故障ではありません。<br>通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。 | — |
| **リストが操作できない。** | 接続機器がリスト表示機能に対応していない。 | AVRCP ver.1.4 に対応した機器を使用してください 。 | — |
| | | BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP ver.1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。 | — |

## ハンズフリー

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **ビルの谷間などで音声が乱れる。** | 電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。 | 妨害電波を受けない場所に移動してください。 | — |
| **鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。** | それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。 | | |
| **オーディオの音声にブーンというノイズが入る。** | 携帯電話からの電波が混入した。 | | |
| **発信できない。** | 電波が届きにくい場所にいる。 | | |
| **音が出ない。**<br>● **相手の声が聞こえない。**<br>● **着信音が聞こえない。** | 音量が最小になっている。 | 発着信音量、受話音量を調整してください。 | M-14 |
| | 携帯電話が本機より離れすぎている。 | 携帯電話を本機に近づけてください。 | — |
| | | 携帯電話の電波状態を確認してください。 | |
| **相手に声が伝わらない。** | 送話音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中） | 送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。 | M-11、M-14 |
| **通話後、オーディオの声が聞こえない。** | 音量を下げているまたは音を消している。 | 音量を上げてください。 | A-11 |
| **携帯電話と接続できない。** | BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。 | 携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチをロック→ONにしてください。 | — |
| | BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。 | 対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。 | M-2 |
| **Siri Eyes Free が起動しない。** | 対応機器が接続されていない。 | Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneをハンズフリー登録してください。 | M-2、M-19 |
| | 接続機器が利用できない状態になっている。 | iPhoneのSiri機能をオンにしてください。 | — |
| | | 本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行ってください。 | — |

# こんなメッセージが表示されたら



## ナビゲーション

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“受信局が変化しました。情報を受信中です。”（FM多重）** | FM多重のVICS情報（レベル1／レベル2）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。 | 表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。 | – |
| **“情報の受信中です。”（FM多重）** | FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い） | 受信できるまでしばらくお待ちください。 | – |
| **“サーチ中は登録できません。”（FM多重）** | 放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。 | サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。 | – |
| **“放送局は登録されていません。”（FM多重）** | 放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。 | あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。 | E-6 |
| **“情報を受信していません。”（FM多重）** | 受信エリア外に居る。 | 受信エリア外では、受信できません。 | – |
| | 受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。 | 場所を移動してみてください。 | – |
| | 放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。 | サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。 | – |
| | VICS 放送局でない放送局（周波数）を受信している。 | 全てのFM放送局が交通情報を放送しているわけではありません。交通情報を放送している放送局を受信してください。 | E-5 |
| **“この情報は表示できません。”** | 走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。 | 安全な場所に車を止めてから操作をしてください。 | – |

## ナビゲーション

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| “SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。” | SDカード内に該当するデータがない。 | あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。 | — |
| “SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？” | オーディオでSDカードを使用している。 | オーディオを終了してください。 | H-3 |
| “SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。” | SDカードが差し込まれていない。 | 車のエンジンスイッチをロックに入れ、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをONに入れてください。 | A-16 |
| | SDカードが挿入されていない。 | 指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。 | F-24 |
| | SDカードは挿入されているが、認識できていない。 | SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。 | — |
| “ETCカードを確認してください” | ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。 | 正常な状態のETCカードを挿入してください。 | — |
| “ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください” | ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。 | Honda販売店にご相談ください。 | — |
| “ETCカードが挿入されていません” | カード入れ忘れ警告の設定を する に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。 | ETCカードを挿入してください。 | — |
| “ETCユニットがセットアップされていません” | ETC車載器本体がセットアップされていない。 | ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。 | — |
| “ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません” | カード有効期限案内の設定を する に設定しているときに、有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れた。 | 有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。 | — |

## オーディオ

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“リージョンコードが違います。”** | リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。 | 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。 | — |
| **“視聴制限により再生できません。”** | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。 | J-9 |
| **“入力されたパスワードが間違っています。”** | 入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。 | パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。 | J-9 |
| **“走行中は映りません。”** | 走行中に映像(動画)を見ようとした。 | 安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。<br>安全な場所に車を停車させてから、操作してください。 | — |
| ● **“録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。”**<br>● **“録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。”** | 本機の容量が一杯になったため。 | 本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしてください。 | — |
| **“再生可能なディスクを入れてください。”** | ● 本機で再生できないディスクを入れている。<br>● ディスクが逆に挿入されている。<br>● ディスクに汚れ／異常がある。<br>● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。<br>● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。 | ● 本機で再生できるディスクを入れてください。<br>● ディスクを正しくセットしてください。<br>● ディスクの汚れを拭きとってください。<br>● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。<br>● 正しいディスクをセットしてください。<br>● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。 | — |
| **“ディスクを入れてください。”** | ディスクが入っていない。 | 本機で再生できるディスクを入れてください。 | — |
| ● **“録音に失敗しました。もう一度録音してください。”**<br>● **“CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。”** | CDに汚れ、傷がある。 | CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。 | O-32 |

## オーディオ

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| “録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。” | 音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。 | 自動でデータベースの修復を行いますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。 | — |
| “再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。” | オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。 | 車のエンジンスイッチを一旦ロックに入れてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れてください。<br>※復帰しない場合に、音楽データの初期化をすると本機に録音した全てのデータが消えます。 | I-12 |
| “iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。” | iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。 | iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。 | — |
| “再生可能な曲がありません。” | SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。 | 再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 | O-44 |
| | USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。 | 再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。 | O-44 |
| “しばらくお待ちください。” | ディスクを読み込み中です。 | 正常な動作ですので、そのままお待ちください。 | — |
| | ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。 | 正常な動作ですので、そのままお待ちください。 | — |
| | メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。 | しばらく待ってから電源をOFFにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。 | — |
| “SDカードを挿入してください。” | SDカードが差し込まれていない。 | 再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 | A-16 |
| | SDカードは差し込まれているが、認識できない。 | 電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。 | |

## オーディオ

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。”** | 入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 | 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。 | — |
| **“使用できないSDカードが挿入されています。”** | 対応していないSDカードが挿入されている。 | 別のSDカードで試してください。 | — |
| | SDカードを正しくフォーマットしていない。 | 本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。 | G-20 |
| | 本機がSDカードを正しく認識できない。 | SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。 | — |
| **“ビデオモードに対応していません。”** | ビデオモードに対応していないiPodを接続している。 | ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。 | — |
| **“USB機器を接続してください。”** | USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されている。 | 本機に対応しているUSB機器を使用してください。 | H-25、O-34 |
| **“対応していない機器が接続されています。”** | 非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。 | | |
| **“携帯電話の接続が解除されました。”** | 携帯電話との接続が切れた。 | 携帯電話を本機に近づけてください。 | — |
| | | 対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。 | M-2 |
| **“登録できませんでした。”** | 入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 | 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。 | — |
| | 他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。 | ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。 | — |

## テレビ

| メッセージ表示 | メッセージが出るとき | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| “受信できません。”(0020) | 地上デジタル/ワンセグ放送の受信レベルが低い。 | 受信できる場所に移動してください。 | — |
| “受信できません。”(E202) | 地上デジタル/ワンセグ放送の電波を受信できていない。 | 受信できる場所に移動してください。 | — |
| “受信できません。”(E203) | 地上デジタル放送/ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。 | 受信できる場所に移動してください。 | — |
| | 放送休止のチャンネルを見ている。 | 視聴できるチャンネルを選んでください。 | — |
| “B-CASカードが正しく挿入されていません　表裏または挿入方向を確認してください。” | miniB-CASカードが汚れている。 | miniB-CASカードのパッケージの記載内容に従ってminiB-CASカードをお手入れしてください。 | — |
| | miniB-CASカードの挿入方向を間違えている。または使用できないカードが挿入されている。 | 付属のminiB-CASカードを正しく挿入してください。 | K-2 |

# 0

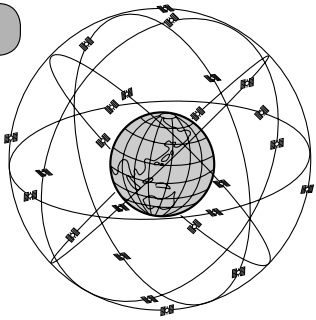
# 必要なとき




GPS衛星の電波受信と測位……0-2
GPS(Global Positioning System)について…0-2
受信しにくい場所について……0-2
受信するまでの時間について……0-2
自律航法とマップマッチング……0-3
現在地の誤差について……0-3
自律航法＆マップマッチング……0-3
学習度と現在地……0-3
交通情報(VICS情報)について……0-4
VICS情報の更新に伴う表示変更について……0-4
音声案内について……0-5
ルート案内時の注意点……0-6
出発地・経由地・目的地の設定について……0-8
経由地、目的地の設定の注意点……0-8
VICSについて……0-10
地図ソフトについて……0-14
市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア……0-18
地図に表示される記号……0-22
ETCについて……0-23
映像の調整のしかた……0-24
画質を調整する……0-24
画面サイズを選ぶ……0-25
昼夜切替をする……0-25
オーディオ リモコン スイッチ……0-26
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…0-28
Gracenoteデータベースについて……0-29
ディスク／SDカードについて……0-31
再生できるディスク……0-31
ディスクの取り扱いについて……0-32
SDカードについて……0-33
SDカードの取り扱いについて……0-33
USB機器について……0-34
miniB-CASカードについて……0-35
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について……0-35
ウォークマン®について……0-36
対応可能なウォークマン®……0-37
iPod／iPhoneについて……0-38
対応可能なiPod／iPhone……0-38
使用上のお願い……0-38
BLUETOOTHについて……0-39
ハンズフリーについて……0-39
BLUETOOTH Audioについて……0-41
リア席モニターについて……0-42
リアモニタHDMI音声入力……0-43
音楽ファイルについて……0-44
画像ファイルについて……0-48
動画ファイルについて……0-49
構成内容……0-51
仕様……0-52
初期設定一覧……0-53
別売品(システムアップ)について……0-56
商標など……0-58
個人情報の取り扱いについて……0-60
保証とアフターサービス……0-60
さくいん……0-61

# GPS衛星の電波受信と測位

## GPS(Global Positioning System)について



地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

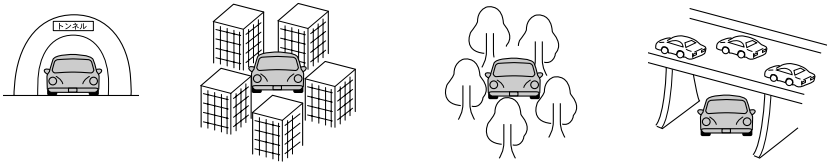
※本機では高度は表示しません。

アドバイス GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

## 受信しにくい場所について

**GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。**
**GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。**
**受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。**

- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など




※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

## 受信するまでの時間について

**必ず見晴らしのよい場所で行ってください。**
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。
**本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。**(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。**)通常は電源を入れてから数分で表示します。

# 自律航法とマップマッチング

## 現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。



## 自律航法＊1＆マップマッチング＊2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

＊1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

＊2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

## 学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

# 交通情報(VICS情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

アドバイス
表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

## VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などについては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

# 音声案内について

## 音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地１付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-13をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 現在地 をタッチすると、再度音声案内を聞くことができます。
  F-13で 消音 を選んでいる場合は、 現在地 をタッチしても音声案内を聞くことはできません。

# ルート案内時の注意点

●表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。

●道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

●ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

●ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

●目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除したときにルートは消えます。

●再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

●ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

●距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

●距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

●道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

●経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。

- どれか１カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行いません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。

●以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

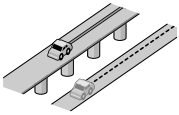
- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
  この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

**●以下のようなルートが表示されることがあります。**

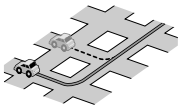
- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。
  この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先 を選んでルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
  ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや 探索条件 の設定でフェリーを優先 しない に設定しても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

**●自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。**
**故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。**

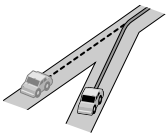
- 高速道路と一般道路が近くにある。



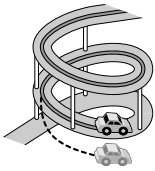
- 碁盤目状の道路を走行している。



- 角度の小さなY字路を走行している。



- らせん状の道路などを走行している。



- 地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れてターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき。
- 旋回、切り返しを繰り返したとき。
- S字の連続する道路を走行しているとき。
- 直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき。

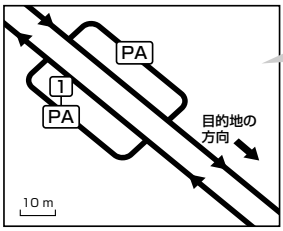
アドバイス エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

# 出発地・経由地・目的地の設定について

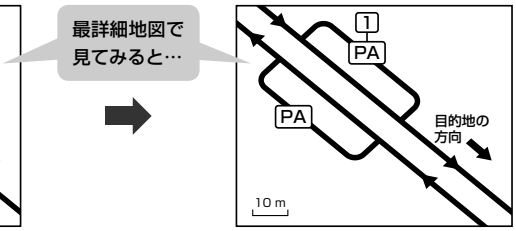
## 経由地、目的地の設定の注意点

**通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。**
**最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。**

**例）高速道路のPAに経由地を設定した場合**

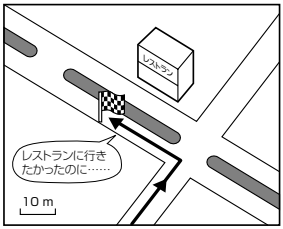



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

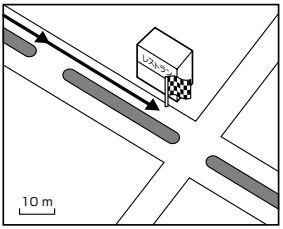



詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

**例）中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合**

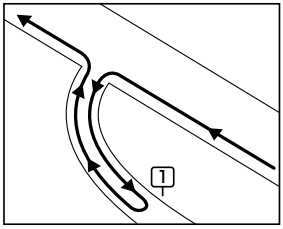



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

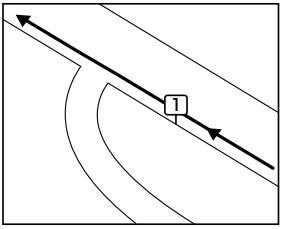



詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

**例）設定したい経由地付近に細街路がある場合**

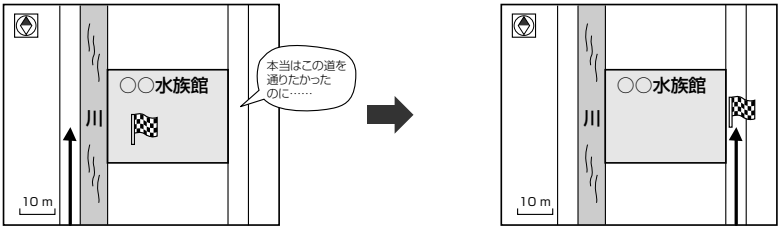



立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。




詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

**例)「施設の名称で地点を探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合**
**(駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)**

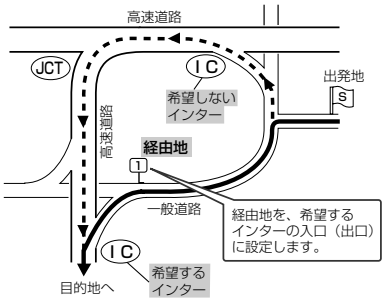



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

アドバイス 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

**例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合**




希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(- - - - ►)を選ぶことがあります。

# VICSについて

## VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

**〈概念〉**

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

**〈システム概要〉**

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*1から、FM多重放送*2を使ってリアルタイム*3に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

＊1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

＊2 FM多重放送では広域情報を提供します。

＊3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

**〈情報提供時間〉**

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。

FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。

※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

**〈情報の更新について〉**

おおむね、5分間隔で更新されます。

**〈VICSリンクデータベースの著作権について〉**

VICSリンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

| 問い合わせ先 / 問い合わせ項目 | お買い上げのHonda販売店 | VICSセンター |
|---|---|---|
| VICSの概念、計画 | | ○ |
| レベル1の表示内容 | | ○ |
| レベル2の表示内容 | | ○ |
| レベル3の表示内容 | ○ | |
| サービスエリア | ○ | |
| 受信可否 | ○ | |
| 車載機の調子、機能、使い方 | ○ | |

**※VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。**

**※VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)**

VICSセンター

電話番号　0570-00-8831
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間　平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号　(03)3562-1719

FAX受付時間　24時間

URL　http://www.vics.or.jp/index1.html

＊お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。
※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

## VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

## VICS情報有料放送サービス契約約款

### 第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

### 第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

### 第3章 契 約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
２　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
２　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
２　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

# 地図ソフトについて

**重　要　!!**

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

**使　用　規　定**

1．(株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。

2．(株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し､本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。

3．お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

（1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。

（2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4．お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

（1）本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。

（2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は､(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

（3）本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5．お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

（1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

（2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む｡)の全部または一部を使用させること。

（3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

（4）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。

（5）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

## 安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

# ⚠ 警告

指示

**操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。**
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

**常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

**一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止

**運転者は、走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

**運転中は、画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

**本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

### 【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26情使、第244-B54号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25情使、第798-004号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2014年11月のものを使用しています。

## 地図ソフトについて

- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2014年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2014年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D交差点……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2014年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2014年11月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。（予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）
  なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2015年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

## VICS に関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)
**電話番号：**0570-00-8831
**電話受付時間：**9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
**FAX：**03-3562-1719

## 【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2014年12月(高速・有料道路)／2014年10月(国道・都道府県道)
■交通規制※1：2014年11月　■住所検索　：2014年11月　■電話番号検索：2014年11月
■個人宅電話番号検索：2014年8月　■郵便番号検索：2014年11月　■ジャンル検索：2014年10月
■高速・有料道路料金※2：2014年12月　■市街地図　：2014年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

## 【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2015年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2015年10月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2015 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

## 地図に関するお問い合わせ先
## 株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
**フリーダイヤル 0120-210-616**
**受付時間 9:30～17:30　月～土(祝日・弊社指定休日は除く)**

※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

# 市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 %以上収録地域 → 無印、50 %以上収録地域→□、50 %未満収録地域→

| | |
|---|---|
| 北海道 | 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町 |
| 青森県 | 三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村 |
| 岩手県 | 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、平泉町 |
| 宮城県 | 多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町 |
| 秋田県 | 秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町 |
| 山形県 | 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町 |
| 福島県 | 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町 |
| 茨城県 | 水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町 |
| 栃木県 | 宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町 |
| 群馬県 | 前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村 |
| 埼玉県 | 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町 |

| | |
|---|---|
| 千葉県 | 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市 |
| 東京都 | 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町 |
| 神奈川県 | 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村 |
| 新潟県 | 新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村 |
| 富山県 | 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町 |
| 石川県 | 内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町 |
| 福井県 | 福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町 |
| 山梨県 | 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町 |
| 長野県 | 松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村 |
| 岐阜県 | 岐阜市、多治見市、岐南町、関ケ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町 |
| 静岡県 | 浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市 |
| 愛知県 | 名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市 |

## 市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 %以上収録地域 → 無印、50 %以上収録地域→□、50 %未満収録地域→

| | |
|---|---|
| 三重県 | 津市、松阪市、いなべ市、東員町、菰野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町 |
| 滋賀県 | 近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町 |
| 京都府 | 城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町、伊根町、与謝野町 |
| 大阪府 | 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村 |
| 兵庫県 | 尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市、市川町、神河町 |
| 奈良県 | 奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村 |
| 和歌山県 | 和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、太地町、串本町 |
| 鳥取県 | 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町 |
| 島根県 | 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市 |
| 岡山県 | 岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市 |
| 広島県 | 呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市 |
| 山口県 | 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、平生町、周防大島町、田布施町 |
| 徳島県 | 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町 |
| 香川県 | 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町 |
| 愛媛県 | 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町 |
| 高知県 | 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町 |

| | |
|---|---|
| 福岡県 | 糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町 |
| 佐賀県 | 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町 |
| 長崎県 | 佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町 |
| 熊本県 | 熊本市*、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町<br>＊印…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。 |
| 大分県 | 大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町 |
| 宮崎県 | 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町 |
| 鹿児島県 | 鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町 |
| 沖縄県 | 那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町 |

アドバイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2014年7月です。

# 地図に表示される記号

## 地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署・市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む:分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城・城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- SA サービスエリア
- PA パーキングエリア
- IC インターチェンジ
- JCT ジャンクション
- 料金所
- 出入 ランプ(出入口)
- 出 ランプ(出口専用)
- P 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- ウインズ
- GS ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点

### 道路の表示色

青色:高速道路、有料道路
赤色:国道
緑色:主要地方道、県道
灰色:一般道、細街路
青色(破線):フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

**計画道路について**

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。

アドバイス
道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。
上記の色は **ノーマル** を選んだときの色を記載しています。

## 立体アイコン(例)

東京タワー

新宿センタービル

神宮球場

松江城

日本武道館

横浜ランドマークタワー

東京都庁(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

# ETCについて



### ＜ETCとは＞

インターチェンジランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。
しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。
ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。
ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。
通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。
※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

### ＜ETCを利用するには＞

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。
カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。
また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

### 必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。

アドバイス

- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーンの表示(☞F-5)を しない に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- 右画面AV表示で映像を表示させているとき、ETCゲート通過時のETC利用可能メッセージ表示中は、映像が表示されません。

**予告案内について**

- ETCの利用ができないときは、“ETCが利用できません”とETC車載器から予告案内を音声と表示でお知らせします。また、ETCの利用が可能なときは、受信音でお知らせします。
- 予告案内は料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

# 映像の調整のしかた

**各オーディオや別売の各カメラ映像などで別々に調整することができます。**

※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。走行中は調整できる項目が限られます。

※ 携帯電話 をタッチ後は、 MENU を長押ししても画質調整を行うことはできません。

※リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから映像調整を行ってください。

## 画質を調整する

**1** **調整したい映像を表示させて、 MENU を長押しする。**

**2** **画質調整 ➡調整したい項目を選んでタッチする。**

※調整する画面によっては、 画質調整 のタッチは不要です。

※調整する画面によっては、調整項目が 明るさ ／ コントラスト のみになります。

**3** **◀／▶をタッチして値を調整する。**

アドバイス

調整はタッチパネルの ◀ または ▶ をタッチし続けても調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。

| | |
|---|---|
| 明るさ(1～31)調整 | ◀ をタッチすると暗くなり、 ▶ をタッチすると明るくなる。<br>アドバイス 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。 |
| コントラスト(1～31)調整 | ◀ をタッチすると黒さが増し、 ▶ をタッチすると白さが増す。 |
| 色の濃さ(1～31)調整 | ◀ をタッチすると淡くなり、 ▶ をタッチすると濃くなる。 |
| 色合い(1～31)調整 | ◀ をタッチすると赤が強くなり、 ▶ をタッチすると緑が強くなる。 |

## 画面サイズを選ぶ

**1** MENU を長押しする。

**2** 画面サイズを選んでタッチする。

| | |
|---|---|
| ノーマル | 映像を4：3で表示<br>※16：9の映像は横方向に圧縮されます。<br>※両端は黒い帯で表示されます。 |
| フル | 16：9の映像を最適に表示<br>※4：3の映像は画面全体が引き延ばされて表示されます。 |
| ワイド | 左右の端部が横方向に向けて引き延ばされて表示<br>※映像は左右が切れて表示されます。 |
| シネマ | ノーマル表示が上下左右方向に引き延ばされて表示<br>※映像は上下が切れて表示されます。 |

アドバイス Digital TVソースの場合は ノーマル ／ フル のみとなります。

## 昼夜切替をする

**画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。**

**1** 画質調整画面で 昼夜切替 をタッチする。

：タッチするたびに昼／夜と画面の輝度が切り替わります。

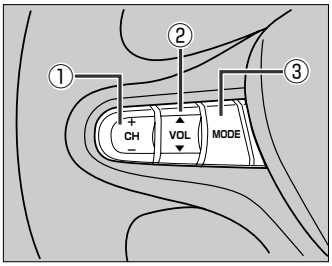
アドバイス 車のライトをON／OFFした場合、昼／夜も連動して切り替わります。

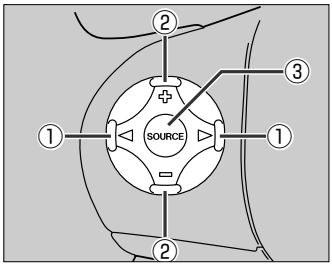
画質調整画面

# オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

**運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。**
イラストはイメージ図です。




車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH－／CH＋スイッチ、◁／▷スイッチ

- ラジオを聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：プリセットされている次の放送局を選局します。
  CH－／◁**を押す。**：プリセットされている前の放送局を選局します。
  CH＋／▷／CH－／◁**を長く押す。**：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- Digital TVを見ているとき
  CH＋／▷、CH－／◁**を押す。**：選局します。

- MP3／WMA／AACファイル(CD・DVD＊1／SD／USB)を聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
  CH＋／▷**を長く押す。**：フォルダアップします。
  CH－／◁**を長く押す。**：フォルダダウンします。

- CD／Music Rack／iPod／BLUETOOTH Audioを聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
  ※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

- DVDを見ているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。
  ※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

② VOL▲／VOL▼スイッチ、✙／▭スイッチ

VOL▲／✙**を押す。**：オーディオ音量が大きくなります。
VOL▼／▭**を押す。**：オーディオ音量が小さくなります。
VOL▲／✙**を長く押す。**：連続してオーディオ音量が大きくなります。
VOL▼／▭**を長く押す。**：連続してオーディオ音量が小さくなります。

＊1…CD・DVDでのAAC再生はできません。

③ MODE 、 SOURCE スイッチ

MODE ／ SOURCE を押す。：スイッチを押すたびに、

→ FM → AM → CD/DVD → Music Rack → USBまたはiPod → SD →
VTR/リアモニタHDMI ← HDMI ← Digital TV ← BLUETOOTH Audio ↲

と切り替わります。

MODE ／ SOURCE を長く押す。：Siri Eyes Free機能が起動します。

※USBとiPodは同時に接続できません。
※iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。

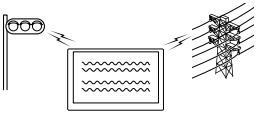


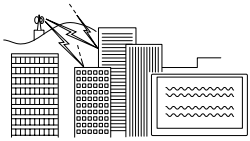
アドバイス

- オーディオモード⇔ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の AUDIO ⇔ 現在地 をタッチして切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
  - ディスク、SDカード未挿入
  - USB／iPod／VTR／AUX／BLUETOOTH Audio機器未接続
  - HDMI接続設定でHDMIを使用しないに設定

# オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。





  - ・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
  - ・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ・トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - ・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  - ・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
  - ・携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
  - ・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

# Gracenoteデータベースについて

CDをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。



● **Gracenoteデータベースについて**

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote、CDDB、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

gracenote

アドバイス 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● **Gracenoteデータベースのご利用について**

**Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書**

**この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。**

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

**Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

copyright © 2000 to present Gracenote

# ディスク／SDカードについて

## 再生できるディスク

DVD-R／-RW／-R DL

CD-R／-RW



■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。
- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク（海賊版のディスク）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）で収録されたディスク

■DVDレコーダ等で作成したディスクのビデオ再生対応

| メディアの種類（記録方式） ＼ 録画映像の種類 | DVD-RW（VRモード）CPRM対応 | DVD-RW（VRモード）CPRM非対応 | DVD-R（Videoモード） DVD-RW（Videoモード） | DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM対応 | DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM非対応 | DVD-RAM | CD-R CD-RW |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画制限なし | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 録画制限あり | ○ | − | − | ○ | − | × | × |
| 録画禁止 | ×* | ×* | ×* | ×* | ×* | × | × |

−：記録できないディスク
×：再生できないディスク
＊…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。（映像が乱れるなどの可能性があります。）

※DVD-R／-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。
※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。
※録画方式など詳しくはDVDレコーダなどの説明書をよくお読みください。

■CD-R、CD-RWについて
拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■8 cmディスクについて
本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■次のような場合は再生できないことがあります。
- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- データ書き込みに失敗し再度録音した場合
- 記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
- 「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスク（ただしMP3／WMAは再生できます。）

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

## ディスク／SDカードについて

**■下記のディスクには対応していません。（再生できても正常に再生されないことがあります。）**

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R／+RW／+R DL
- コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）

**■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。**

**ラベルなどを貼り付けたディスク**

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

**破損・変形したディスク**

そっている

ひびやキズがある・欠けている

**透明なディスク**

全体が透明

一部が透明

**円形以外の特殊な形状のディスク**

ハート形

カード型

三角形

バリがある

**■Dual Discについて**

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズがついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

## ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。

- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

## SDカードについて

- **本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。**
- **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**
- **本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。**

| 使用できるSDカードの種類（下記以外のSDカードは使用できません。） | |
|---|---|
| ・SDカード（2 GB以下、256 MB以上を推奨）<br>・SDHCカード（4 GB～32 GB）（Class2～10） | ※SDロゴ、SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用可<br>※対応した機器でのみ使用可<br>※SDXCカードには対応していません。<br>※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。 |

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- **SDカードの初期化は本機で行ってください。**
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中（再生中／初期化中など）にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。

## SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など）でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

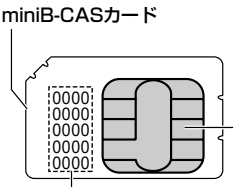
# USB機器について

- 本機にはUSB機器は付属しておりません。
- 本機に接続されている別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してご使用ください。
- USB機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB機器の再生中にUSB機器を外さないでください。
- 32 GBまでの容量のUSBメモリーに対応しています。（256 MB以上を推奨）
- マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- 下記のUSB機器、接続には対応していません。
  - ・パーティションが複数あるUSB機器
  - ・電流が500 mAを超えるUSB機器
  - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSB機器
  - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器
  - ・USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0の機器を接続した場合、USB2.0で動作します。
- 全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。

# miniB-CASカードについて

**miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。**

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。
ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。




契約内容などを管理するための大切な番号です。お問い合わせの際にも必要です。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
  - ・折り曲げたり、変形させない。
  - ・上に重いものを置いたり踏みつけたりしない。
  - ・水をかけたり、濡れた手でさわらない。
  - ・IC(集積回路)部には手をふれない。
  - ・分解加工は行わない。
  - ・カード挿入口に正しく挿入する。　☞「miniB-CASカードを入れる／取り出す」K-2
  - ・ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない。
    ※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
  - ・付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない。
  - ・付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできない。
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細は、B-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

## miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　　受付時間　10：00～20：00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「説明書」「取付要領書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

**住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。**
**ご了承ください。**

# ウォークマン®について

**本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。**
**※2015年2月現在に発表されているものに限ります。**
**※Windows Media Video(WMV)には対応していません。**
**※Walkman Phoneには対応していません。**
**※対応可能なウォークマン®については☞0-37**

- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の説明書を参照してください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless／WAV(PCM)などの形式の曲には対応していません。
- 本機に接続すると、起動中はウォークマン®へ充電を行います。
- **ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子 “oma” が付いたものだけです。**
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
  ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- ドラッグ&ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transfarで転送した音楽ファイルは選曲モードのフォルダからのみ再生できます。
- Media Goから転送した音楽ファイルは、選曲モードの全曲やフォルダからのみ再生できます。
- x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルに対応しています。
  x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルはATRAC AD形式で保存されます。
- ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®が対応している階層とは異なります。)
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。

## 対応可能なウォークマン®

2015年2月現在

| モデル名 | ミュージック（音楽） | フォト（画像） | ビデオ（動画） |
|---|---|---|---|
| NW-E305/E307 | ○ | × | × |
| NW-E405/E407 | ○ | × | × |
| NW-E505/E507 | ○ | × | × |
| NW-E002/E003/E005 | ○ | × | × |
| NW-E013/E015/E016 | ○ | × | × |
| NW-E023F/E025F/E026F | ○ | × | × |
| NW-E042/E043/E044 | ○ | × | × |
| NW-E052/E053 | ○ | × | × |
| NW-E052K/E053K | ○ | × | × |
| NW-E062/E063 | ○ | × | × |
| NW-E062K/E063K | ○ | × | × |
| NW-E083 | ○ | ○ | × |
| NW-E083K | ○ | ○ | × |
| NW-A605/A607/A608 | ○ | × | × |
| NW-A805/A806/A808 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A916/A918/A919 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A828/A829 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A845/A846/A847 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A855/A856/A857 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A865/A866/A867 | ○ | ○ | ○ |
| NW-A16/A17 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S203F/S205F | ○ | × | × |
| NW-S603/S605 | ○ | × | × |
| NW-S703F/S705F/S706F | ○ | × | × |
| NW-S615F/S616F | ○ | ○ | ○ |
| NW-S636F/S638F/S639F | ○ | ○ | ○ |
| NW-S715F/S716F/S718F | ○ | ○ | ○ |
| NW-S736F/S738F/S739F | ○ | ○ | ○ |
| NW-S644/S645 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S744/S745/S746 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S754/S755/S756 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S764/S765/S766 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S774/S775 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S784/S785/S786 | ○ | ○ | ○ |
| NW-S14/S15 | ○ | ○ | ○ |

| モデル名 | ミュージック（音楽） | フォト（画像） | ビデオ（動画） |
|---|---|---|---|
| NW-S636FK/S638FK | ○ | ○ | ○ |
| NW-S736FK/S738FK | ○ | ○ | ○ |
| NW-S644K/S645K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S744K/S745K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S754K/S755K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S764K/S765K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S774K/S775K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S784K/S785K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S14K/S15K | ○ | ○ | ○ |
| NW-S764BT | ○ | ○ | ○ |
| NW-S774BT | ○ | ○ | ○ |
| NW-F805/F806/F807 | ○ | ○ | ○ |
| NW-F805K/F806K | ○ | ○ | ○ |
| NW-F805BT | ○ | ○ | ○ |
| NW-F885/F886/F887 | ○ | ○ | ○ |
| NW-X1050/X1060 | ○ | ○ | ○ |
| NW-Z1050/Z1060/Z1070 | ○ | ○ | ○ |
| NW-ZX1 | ○ | ○ | ○ |
| NW-ZX2 | ○ | ○ | ○ |
| NW-M505 | × | × | × |
| NW-HD1 | × | × | × |
| NW-HD2 | × | × | × |
| NW-HD3 | × | × | × |
| NW-HD5/HD5H | × | × | × |
| NW-A1000/A1200 | × | × | × |
| NW-A3000 | × | × | × |
| NW-E103/E105/E107 | × | × | × |
| NWD-W202 | × | × | × |
| NWD-W253 | × | × | × |
| NWD-W263 | × | × | × |
| NWD-W273 | × | × | × |
| NW-W274S | × | × | × |
| NW-WS615 | × | × | × |
| NW-WH303 | × | × | × |

○：可能　×：不可

# iPod／iPhoneについて

## 対応可能なiPod／iPhone

2015年5月現在

| iPod／iPhone モデル名 | ソフトウェア バージョン(iOS) | iPod接続コード(別売)で接続 | | Lightning-USBケーブルで接続 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 音楽再生 | ビデオ再生 | 音楽再生 | ビデオ再生 |
| iPhone 6 | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPhone 6 Plus | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPhone 5s | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPhone 5c | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPhone 5 | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPhone 4S | 8.3 | ○ | ○ | × | × |
| iPhone 4 | 7.0.6 | ○ | ○ | × | × |
| iPhone 3GS | 6.1.5 | ○ | ○ | × | × |
| iPhone 3G | 4.2.1 | ○ | ○ | × | × |
| iPod touch(第5世代) | 8.3 | × | × | ○ | × |
| iPod touch(第4世代) | 6.1.5 | ○ | ○ | × | × |
| iPod touch(第3世代) | 5.1.1 | ○ | ○ | × | × |
| iPod touch(第2世代) | 4.2.1 | ○ | ○ | × | × |
| iPod touch(第1世代) | 3.1.3 | ○ | ○ | × | × |
| iPod Classic | 1.1.2 | ○ | ○ | × | × |
| iPod Video | 1.3 | ○ | ○ | × | × |
| iPod nano(第7世代) | 1.0.2 | × | × | ○ | × |
| iPod nano(第6世代) | 1.2 | ○ | × | × | × |
| iPod nano(第5世代) | 1.0.2 | ○ | ○ | × | × |
| iPod nano(第4世代) | 1.0.4 | ○ | ○ | × | × |
| iPod nano(第3世代) | 1.1.3 | ○ | ○ | × | × |
| iPod nano(第2世代) | 1.1.3 | ○ | × | × | × |
| iPod nano(第1世代) | 1.3.1 | ○ | × | × | × |

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。

アドバイス

- iPod／iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod／iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod／iPhone側で操作しないでください。
- iPod／iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod／iPhone本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPod／iPhoneの仕様はiPod／iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

## 使用上のお願い

- iPod／iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod／iPhoneの故障の原因となります。
- iPod／iPhoneのユーザガイドもあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod／iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

# BLUETOOTHについて



- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応機器はBluetooth SIG. Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
  3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。

## ハンズフリーについて

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。

- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・通話エリア外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意にならないようにしてください。)
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。

アドバイス
携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/

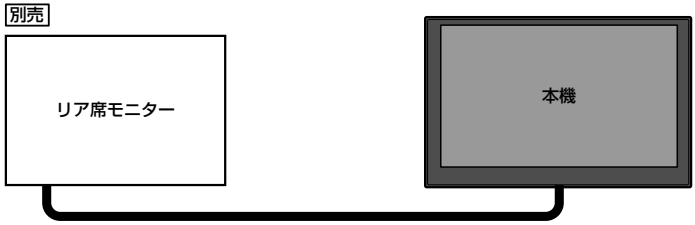
## BLUETOOTH Audioについて

- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH対応機器の音楽再生アプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

# リア席モニターについて

別売

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊1などの使い方ができます。
＊1…DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。




※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

**ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について**

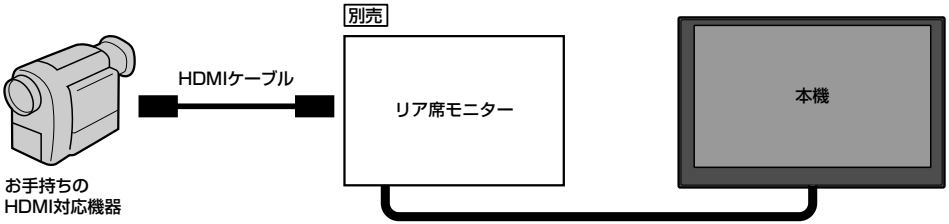
| 本機のモード | | 本機に表示される画面 | リア席モニターに表示される画面 |
|---|---|---|---|
| ナビ | － | ナビ | 表示されません |
| ナビ | DVD | ナビ | DVD |
| ナビ | Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR） | ナビ | Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR） |
| Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR） | － | Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR） | Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR） |
| DVD | － | DVD | DVD |
| ナビ | FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI | ナビ | 表示されません |
| FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI | － | FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI | 表示されません |

※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。

アドバイス
- オーディオモードを終了（OFF状態）にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行います。モード選択や画面の操作を行うことはできません。操作は本機で行ってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- 標準／メーカーオプションナビ用のリア席モニター（ルーフ取付タイプHDMI入力端子/リモコン付）には対応していません。

## リアモニタHDMI音声入力

リア席モニターの中には、HDMI対応機器と接続でき、映像をリア席モニター側で表示、音声を本機側で出力するものがあります。本機側で音声を出力する場合は下記手順を行ってください。




**1** AUDIOメニュー(☞ A-14)から **リアモニタHDMI** をタッチする。

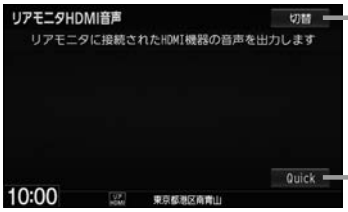
：リア席モニターと接続したHDMI対応機器の音声が出力されます。
（本機の画面に映像は表示されません。）

---

アドバイス

- 接続した機器の音声を聞きながら地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 本機とリア席モニターを接続すると、AUDIOメニューの **VTR／AUX** が **リアモニタHDMI** に変わります。
- リア席モニターにHDMI対応機器が未接続時は、音声は出力されません。

**リアモニタHDMI** タッチ時の本機画面(例)




画面全体に時計を表示

Quick MENUを表示

# 音楽ファイルについて

● 音楽データの規格について

| | MP3 | WMA | AAC |
|---|---|---|---|
| 使用可能なメディア | CD-R／-RW、DVD-R／-RW／-R DL、SD、USB | CD-R／-RW、DVD-R／-RW／-R DL、SD、USB | SD、USB |
| データの規格、プロファイル | MPEG Audio Layer 3 | Windows Media Audio | Low Complexity |
| ファイル拡張子 | MP3、mp3 | WMA、wma | M4A、m4a |
| 最大フォルダ名／ファイル名文字数 | 全角32文字<br>半角32文字(CD、DVD)、半角64文字(SD、USB) | | |
| フォルダ名／ファイル名使用可能文字 | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、<br>全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) | | |
| 最大フォルダ階層 | 8階層 | | |
| 1フォルダ内の最大ファイル数 | 255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む) | | |
| 1メディア内の最大ファイル数 | CD、DVD：512<br>SD、USB：10,000 | | |
| 1メディア内の最大フォルダ数 | CD、DVD：255<br>SD、USB：400 | | |
| 表示可能なタグ | トラック名／アーティスト名／アルバム名<br>※ウォークマン®の場合、ジャンル名の表示も可能 | | |
| タグ表示可能文字数 | ID3タグ Ver1.0/1.1：<br>全角15/半角30文字<br>ID3タグ Ver 2.2/2.3：<br>CD：<br>全角30/半角60文字<br>SD、USB：<br>全角32/半角64文字 | CD、DVD：<br>全角30/半角30文字<br>SD、USB：<br>全角32/半角64文字 | 全角32/半角64文字 |
| ジャケット写真 | CD、DVD：非対応　　SD、USB：対応 | | |

※m3u／MP3i フォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応。
※WMA9 Professional／WMA9 Losslessは非対応。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※チャンネル数が2を超える音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

● **音楽ファイルの再生について**

・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

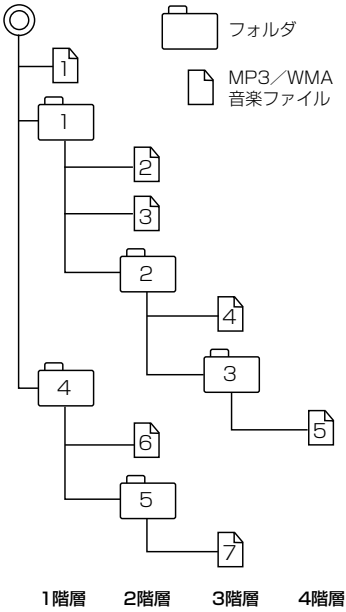
● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

● **ジャケット写真について**

・パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付与することができます。
※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
・MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● **階層と再生順序について**




〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
・本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
・ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
・再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
・使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
・通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
・同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
・8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

| | | MP3 | | WMA | | AAC |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | MPEG1 | MPEG2 | WMA7 | WMA9 standard | |
| サンプリング周波数 (kHz) | 16.000 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 22.050 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 24.000 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 32.000 | ○ | − | ○ | ○ | ○ |
| | 44.100 | ○ | − | ○ | ○ | ○ |
| | 48.000 | ○ | − | − | ○ | ○ |
| ビットレート (kbps) | 8 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 16 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 24 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 32 | ○ | ○ | − | − | ○ |
| | 40 | ○ | ○ | − | − | ○ |
| | 48 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 56 | ○ | ○ | − | − | ○ |
| | 64 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 80 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 96 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 112 | ○ | ○ | − | − | ○ |
| | 128 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 144 | − | ○ | − | − | ○ |
| | 160 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 192 | ○ | − | ○ | ○ | ○ |
| | 224 | ○ | − | − | − | ○ |
| | 256 | ○ | − | − | ○ | ○ |
| | 320 | ○ | − | − | ○ | ○ |
| | VBR (可変ビットレート) | ○ | ○ | − | ○ | ○ |

・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

● MP3／WMA／AACファイルの作り方について

MP3／WMA／AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

**・インターネットの配信サイトより入手する場合**

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

**・音楽CDをMP3／WMA／AACファイルに変換する場合**

パソコンと市販のエンコーダソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA／AAC形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

**・ディスクに書き込む場合**

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。このとき、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

- **MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

- **マルチセッションについて**

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

アドバイス

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“MP3”／“WMA”／“m4a”の拡張子を付けないでください。
  MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

# 画像ファイルについて

● 再生可能なJPEGファイルについて

| | |
|---|---|
| **対応形式** | Baseline JPEG方式 |
| **再生可能な拡張子** | JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能) |
| **最大フォルダ名／ファイル名** | 全角32文字／半角64文字 |
| **最大フォルダ階層** | 8階層 |
| **1フォルダ内の最大ファイル数** | 255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む) |
| **1メディア内の最大ファイル数** | 10,000 |
| **最大フォルダ数** | 100 |
| **フォルダ名／ファイル名<br>使用可能文字** | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、<br>全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) |
| **ファイルサイズ** | 10 MB以下 |
| **画像サイズ** | 16×16ピクセル～4092×4092ピクセル |

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

# 動画ファイルについて

● 再生可能な動画ファイルについて

| ビデオコーデック | ビットレート | フレームレート | 最大解像度 |
|---|---|---|---|
| MPEG4 | 216 kbps～4 Mbps | 15 fps、30 fps | 720×480 |
| H.264 | 216 kbps～4 Mbps | 15 fps、30 fps | 720×480 |

※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profileレベル3までです。
※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。
※H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profileレベル2.1までです。
※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※Windows Media Videoには対応していません。

| オーディオコーデック | ビットレート | サンプリングレート |
|---|---|---|
| AAC-LC | 8 kbps～320 kbps | 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz |
| AAC-Plus | × | × |

※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。
※動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れる場合があります。

| | |
|---|---|
| **再生可能な拡張子** | MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能) |
| **最大フォルダ階層** | 8階層 |
| **表示可能文字数** | 全角32文字、半角64文字 |
| **1フォルダ内の最大ファイル数** | 100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む) |
| **1メディア内の最大ファイル数** | 10,000 |
| **最大フォルダ数** | 100 |
| **フォルダ名／ファイル名使用可能文字** | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) |
| **ファイルサイズ** | 1 GB以下 |

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

## 動画ファイルについて

**● 動画ファイルの再生について**

・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
・チャンネル数が2を超える音声データを含む動画ファイルは再生できません。
・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
・SDカード／USBメモリデバイスの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

**● 著作権について**

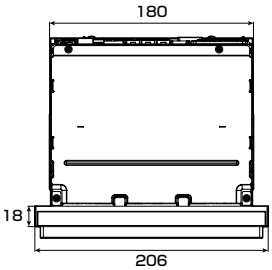
テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

# 構成内容

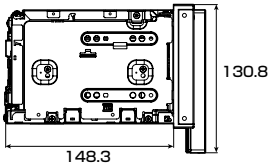
外形寸法図(単位：mm)

本体

VRM-165VFEi

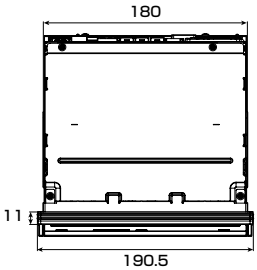



［平面図］

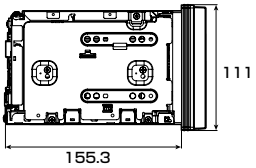



［左側面図］

VRM-165VFi

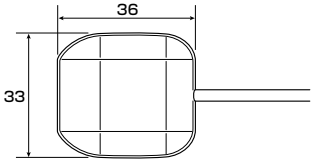



［平面図］

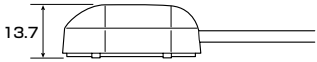



［左側面図］

GPSアンテナ

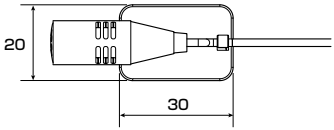



［平面図］

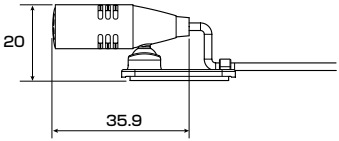



［側面図］

マイク




［平面図］




［側面図］

必要なとき

# 仕様

## モニター部

| | |
|---|---|
| **種類** | 液晶カラーモニター |
| **駆動方式** | TFTアクティブマトリックス方式 |
| **画面サイズ** | 〔VRM-165VFEi〕8 V型<br>〔VRM-165VFi〕7 V型 |
| **使用光源** | LED |

## 地上デジタルテレビ部

| | |
|---|---|
| **受信チャンネル** | UHF：13～52チャンネル |
| **放送方式** | 地上デジタル放送方式(日本)<br>12セグ／ワンセグ |
| **アンテナ入力端子** | 専用端子 |

## ナビゲーション部

| | |
|---|---|
| **GPSアンテナ** | マイクロストリップ<br>平面アンテナ |
| **受信周波数** | 1575.42 MHz(C/Aコード) |
| **受信方式** | パラレル16チャンネル |
| **受信感度** | −145 dBm |
| **位置更新時間** | 0.25秒 |
| **フォーマット** | オリジナルメモリー<br>フォーマット |

## CD部

| | |
|---|---|
| **周波数特性** | 20～20,000 Hz |
| **S／N比** | 75 dB以上 |
| **高調波ひずみ率** | 0.1 %以下(1 kHz) |

## ラジオ・チューナー部

| | |
|---|---|
| **回路方式** | AM／FM／MPX<br>ラジオPLL方式 |
| **受信周波数** | FM 76.0～90.0 MHz<br>AM 522～1629 kHz |
| **実用感度** | FM 15 dB(μV)<br>AM 37 dB(μV) |
| **S／N比** | FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用)<br>AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用) |
| **ステレオセパレーション** | FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用) |
| **歪率** | FM 0.3 %<br>AM 0.5 % |

## DVD部

| | |
|---|---|
| **対応ディスク** | DVDビデオ |
| **読み取り方式** | 非接触光学式読み取り<br>(半導体レーザー使用) |
| **周波数特性** | 20 Hz～20,000 Hz |
| **S／N比** | 80 dB以上 |
| **高調波ひずみ率** | 0.1 %以下(1 kHz) |
| **ダイナミックレンジ** | 80 dB以上 |

## 入出力端子

| | |
|---|---|
| **電源入力端子** | 24ピン専用コネクター |
| **VTRコード接続端子** | 8ピン専用コネクター |
| **リアモニター接続端子** | 7ピン専用コネクター |
| **GPSアンテナ入力端子** | GPSコネクター |
| **ラジオ入力端子**<br>**(VICS入力端子)** | 3ピン専用コネクター<br>(ラジオ入力端子と共用) |
| **ETC端子** | 5ピン専用コネクター |
| **リアカメラ接続端子** | 8ピン専用コネクター |
| **フロント／コーナーカメラ接続端子** | 7ピン専用コネクター |
| **USB端子** | 4ピン専用コネクター |
| **車両信号入力端子** | 3ピン専用コネクター |
| **地上デジタルテレビアンテナ入力端子** | GT13専用コネクター |
| **マイク入力端子** | ミニジャック |
| **LUF入力端子** | 4ピン専用コネクター |
| **HDMI入力端子** | タイプEコネクター |

## その他

| | |
|---|---|
| **供給電源電圧** | DC12 V |
| **消費電流** | 約2 A<br>(CD再生出力 VOL=MAX) |
| **最大出力** | 3.15 Vrms(バランス出力) |
| **外形寸法** | 〔VRM-165VFEi〕<br>206×130.8×166.3 mm<br>〔VRM-165VFi〕<br>190.5×111×166.3 mm<br>(幅×高さ×奥行き)<br>※突起部は除く。 |
| **質量(本体のみ)** | 〔VRM-165VFEi〕2.6 kg<br>〔VRM-165VFi〕2.5 kg |

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(8 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

# 初期設定一覧

**各種設定初期状態は下記の通りです。**

● ナビゲーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 画面表示 | メイン画面 | 北方向を上<br>スケール＝100 m | |
| | 右画面 | 北方向を上<br>スケール＝400 m | |
| QUICK MENU | 自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、<br>渋滞地点、再探索、地点を登録、周辺施設、<br>右画面表示、昼夜切替、道路切替 | | |
| 情報 | FM多重 | 周波数設定 | 自動選局＝ON<br>プリセット選局＝未設定 |
| | ecoドライブ設定 | 急加減速のお知らせ＝する<br>eco速度超過のお知らせ＝する<br>アイドリングのお知らせ＝しない<br>評価履歴＝残す<br>評価レベル＝初級<br>ecoドライブ表示＝しない | |
| 設定 | 地図表示 | メイン画面の設定<br>名称の文字サイズ＝小<br>吹き出しを表示＝する<br>標高地図を表示＝する<br>地図モード＝北向き<br>3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目 | |
| | | 右画面の設定<br>右画面に地図表示＝しない<br>名称の文字サイズ＝小<br>吹き出しを表示＝する<br>標高地図を表示＝する<br>地図モード＝北向き<br>3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目 | |
| | | 地図色設定<br>昼夜切り替え＝スモール連動<br>地図切り替え＝ノーマル<br>標高地図色＝季節連動 | |
| | | 情報バー表示設定<br>MAPCODEを表示＝する<br>地図情報を表示＝住所名<br>AUDIO情報を表示＝しない | |
| | | その他設定<br>緯度・経度を表示＝しない<br>登録地点を表示＝する<br>右画面AVを表示＝しない | |

| | | |
|---|---|---|
| 設定 | ルート案内 | 全ルートの表示＝する<br>交差点情報の表示＝する<br>ルート色の表示＝ピンク<br>ETCレーンの表示＝する<br>ルート情報の表示＝しない<br>ハイウェイモードの表示＝する<br>JCTビューの表示＝する<br>交差点拡大図の表示＝する<br>リアル3D表示＝する<br>方面看板の表示＝する<br>AV画面中の案内割込み＝する<br>右画面AV中の案内割込み＝する<br>盗難多発地点案内＝しない<br>目的地方向を表示＝しない<br>EWS(緊急情報)の割込み＝する |
| | ランドマーク | カーディーラー＝Honda Cars店、オートテラス |
| | 現在地(カーマーク) | 矢印 |
| | 音声案内 | 合流案内＝案内中<br>踏み切り案内＝案内中<br>専用レーン案内＝ON<br>高速走行時の音声切替＝ON<br>VICS案内＝ON<br>案内音量＝15目盛中左から7目盛目 |
| | 探索条件 | 探索条件＝推奨<br>料金表示＝普通車<br>自動再探索＝する<br>フェリーを優先＝しない<br>季節規制考慮＝する<br>時間規制道路を考慮＝する<br>スマートICを利用＝しない<br>ルート学習結果を利用＝する<br>VICS自動再探索＝する<br>internavi交通情報を考慮＝する |
| | VICS | 一般道＝ON　有料道＝ON<br>駐車場＝ON　規制＝ON<br>渋滞無し＝OFF　渋滞混雑＝ON<br>点滅＝ON |
| | 到着予想 | 自動<br>※自動をOFFにすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。<br>一般道路＝30 km/h<br>国道＝40 km/h<br>有料道路＝80 km/h |
| | 走行軌跡 | 軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ<br>軌跡保存データ＝なし |

| | | |
|---|---|---|
| 設定 | オプションボタン | 自宅 |
| | ETC | カード挿入アイコン表示＝する<br>本体ブザー音＝する<br>音声案内＝する<br>カード入れ忘れ警告＝する<br>カード有効期限案内＝する<br>表示割込み時間＝５秒 |
| | セキュリティ | セキュリティ設定＝する<br>セキュリティインジケータ＝する |
| | フロント／コーナーカメラ設定 | フロント／コーナーカメラ自動表示＝いいえ<br>登録地点検知＝はい<br>カメラインジケータ表示＝はい<br>※別売のフロント／コーナーカメラ接続時のみ |
| | リアカメラ設定 | リアカメラ設定次回表示ビュー<br>＝前回表示ビューと同じ<br>※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時 |
| | その他 | キー操作音＝キー操作音１ |
| | | HDMI接続設定<br>HDMIを使用＝しない |
| | | 映像中の時計表示＝する |

● 音量調整

音量＝3

● 画質調整

明るさ
・イルミ※1 OFF時＝25(ナビ、カメラ映像※2共通)
・イルミ※1 ON時 ＝8(ナビ)
16(フロント／コーナーカメラ)
12(リアカメラ)
コントラスト＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)
18(Digital TV)
色の濃さ＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)
色合い＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。
※1…イルミ＝イルミネーション
※2…カメラ映像＝リア／フロント／コーナーカメラ

● CD

再生モード＝通常再生

● USB／SD

選曲モード＝全曲
再生モード＝通常再生
モード切替＝音楽ファイル

● サラウンド設定

OFF
※DSP選択時＝HALL
SRS CS AUTO FOCUS＝4
TruBass＝4
MixToRear＝4

● イコライザー設定

OFF

● スピーカー設定

フロント＝LARGE
リア＝NORMAL

● フェード・バランス調整

FADE＝0
BALANCE＝0
SUB WOOFER＝0

● 車速連動音量

設定＝MIDDLE

● 録音管理

録音管理＝自動録音
録音音質＝高音質モード

● FM／AM(ラジオ)

FM／AM＝FMモード
FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

● Music Rack

選曲モード＝全曲
再生モード＝通常再生

● iPod

モード＝ミュージック

● BLUETOOTH Audio

パスキー＝0000

● DVD

音声言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
字幕言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

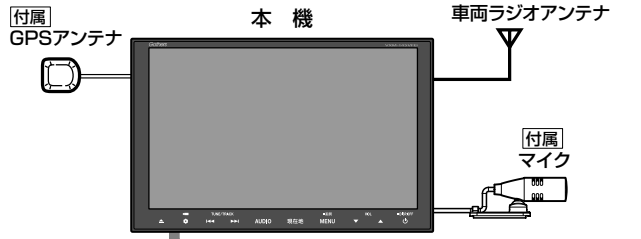
● Digital TV

受信モード＝自動切換
プリセットモード＝おでかけ
字幕＝表示しない
文字スーパー＝表示しない
**システム設定**
オート放送局サーチ＝する
地上D選局対象＝テレビ

● ハンズフリー

パスキー＝1212
発着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する
デバイス名＝Gathers

# 別売品(システムアップ)について




別売 ① ETC車載器（ナビ連動タイプ）

別売 ② リアカメラ／リアワイドカメラ
※車両標準装備の場合があります。

別売 ③ フロントカメラ

別売 ④ コーナーカメラ（2ビュー）

別売 ⑤ USB接続ジャック H-25

別売 ⑥ USBメモリーデバイスコード H-25

別売 ⑦ iPod接続コード H-17

別売 別売 ⑧ VTRコード／HDMI接続コード L-2

別売 ⑨ AUX接続コード L-2

別売 ⑩ 地上デジタルテレビ放送用
フィルムアンテナ
※車両標準装備の場合があります。

別売 ⑪ リア席モニター

別売 ⑫ オーディオ リモコン スイッチ 0-26
※車両標準装備の場合があります。

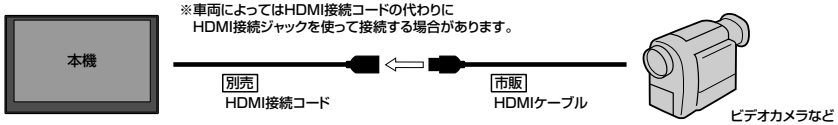
**①ETC車載器(ナビ連動タイプ)**
**②リアカメラ／リアワイドカメラ**
**③フロントカメラ**
**④コーナーカメラ(2ビュー)**
**⑤USB接続ジャック**
USB機器やiPodを再生する場合に必要です。
**⑥USBメモリーデバイスコード**
**⑦iPod接続コード**
iPodを再生させる場合に必要です。
**⑧VTRコード／HDMI接続コード**
市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。
※VTRコードはiPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

**⑨AUX接続コード**
市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。
**⑩地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ**
地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。
**⑪リア席モニター**
**⑫オーディオ リモコン スイッチ**

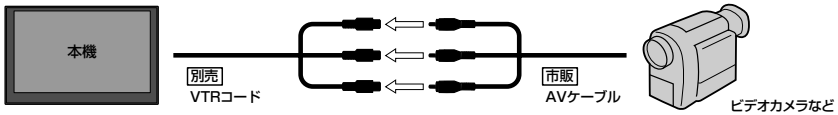
※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

## ■ ビデオカメラなどを使う

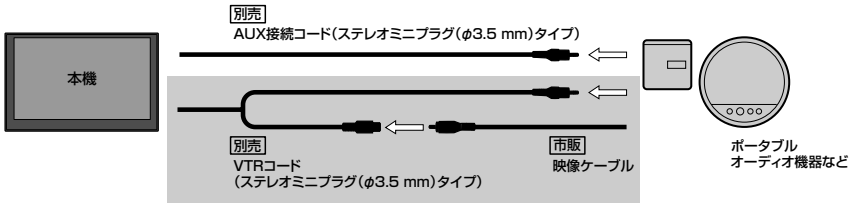
HDMIケーブル接続の場合




AVケーブル接続の場合

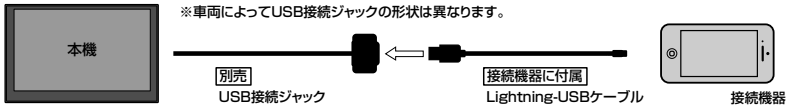



## ■ ポータブルオーディオ機器などを使う

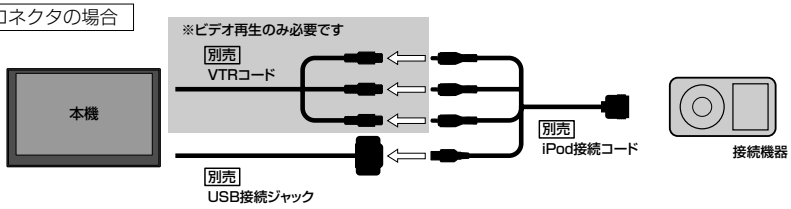



## ■ iPod／iPhoneを使う

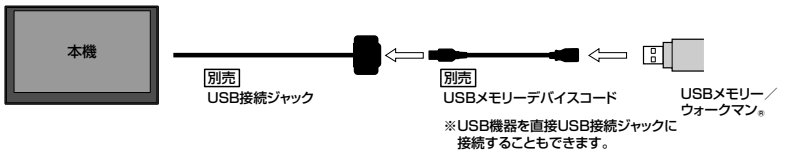
Lightningコネクタの場合 ※ビデオ再生には対応していません。




Dockコネクタの場合




## ■ USB機器を使う




※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

# 商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。
- DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。
- ETCは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- “NaviCon” は株式会社デンソーの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・画像情報をMPEG-4 Visual規格に準拠して(以下、MPEG-4ビデオ)記録すること。
  ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4ビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for iPod iPhone

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siri and Siri Eyes Free are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- “WALKMAN®” “ウォークマン®” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。

- Androidは、Google Inc.の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。

ACCESS NetFront Browser

・ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標、または商標です。
© 2015 ACCESS CO.,LTD. ALL rights reserved.

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

- **MD5 Message-Digest Algorithm**

Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

# 個人情報の取り扱いについて

**本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。**☞ G-20

# 保証とアフターサービス

## ■保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

## ■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低６年間保有しています。

**保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。**

# さくいん



## あ 行


案内スタート……D-12
案内ストップ……D-12
イコライザー設定……H-44
一般優先(ルート探索条件)……D-3, D-11
緯度・経度表示設定……F-3
ウォークマン®……H-19
ウォークマン®対応機種……O-37
迂回探索……D-16
映像調整……O-24
オーディオ リモコン スイッチ……O-26
オーディオをON／OFFする……H-3
オート放送局サーチ(TV)……K-10
オプションボタンの設定をする……G-2
音声案内について……O-5
音声案内の音量調整(ナビゲーション)……F-13
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)……F-13
音声案内をやめる(ナビゲーション)……F-13
音声はそのままで画面を消す……H-3
音声はそのままでナビゲーション画面を表示する……H-3
オンライン検索……H-8, I-5
音量調整(オーディオ)……H-2


## か 行


カーマーク設定……F-10
外形寸法……O-52
回転ボタン……H-23
各部のなまえとはたらき……A-11
カスタムアップデート(個別更新)……I-8
画像再生(USB機器／SD)……H-22
画像ファイルについて……O-48
画面を消す……A-11
キー操作音設定……G-19
季節連動……F-2
距離優先(ルート探索条件)……D-3, D-11
緊急警報放送(TV)……K-12
クイック ルート探索……D-2, D-6
経由地セット……B-11
経由地の入れ替え……D-10
経由地の変更／削除……D-10
経由地をスキップする……D-14
経由地を追加……D-9
現在地表示……B-8
現在のルートを表示……D-12
高音質モード(録音)……I-2
交通情報(VICS情報)……E-2
コーナーカメラ映像を表示する……G-6
故障かな？と思ったら……N-2
個人情報の取り扱いについて……O-60
小文字に変換……A-18


## さ 行


再生できるディスク……O-31
再生モード……H-7, H-15, H-16, H-22, H-33, H-37
再探索……D-17, D-18, D-20
サブウーファー音量調整……H-44
サラウンド設定……H-46
サンプリング周波数……O-46
時間規制道路を考慮……D-18, D-20
時間連動……F-2
自車マーク……B-3, F-10
施設詳細……C-4
自宅セット……B-11
自宅登録……B-12
自宅へのルートを探索……D-6
自動再探索……D-18
自動録音……I-2
絞込み……C-2
ジャケット写真を登録する……H-40
車速連動音量設定……H-48
シャッフル再生……H-15
ジャンクションビュー(JCTビュー)……F-6
住所検索……C-6
渋滞情報……E-3
渋滞地点……D-14
周辺施設検索……C-8
受信モード切替……K-6
出発地・経由地・目的地の設定について……O-8
出発地セット……B-11
出発地の変更……D-7
手動録音……I-2
仕様……O-52
初期化……G-20, I-12
初期設定一覧……O-53
初期登録設定(BLUETOOTH Audio)……H-26
自律航法とマップマッチング……O-3
スキャン再生……H-7, H-22, H-37
スピーカー設定……H-47
スマートIC……D-18, D-20

スモール連動……F-2
スライドショー……H-23
設定ルート……D-12
選曲モード……H-14, H-21, H-32, H-36
全曲録音……I-3
選択曲録音……I-3
ソース選択……H-2

## た　行

代表地点……B-12
探索開始……D-8
探索条件……D-3, D-11, D-18
地図画面の見かた……B-2
地図記号……O-22
地図を拡大／縮小する……B-7
地図をスクロール(地図を動かす)……B-5
地点を登録……B-13
地点を編集……F-15
地名入力……C-6
昼夜切替……B-10, O-25
続きメモリー機能(DVD)……J-2
ディスクを入れる／取り出す……A-16
ディスプレイの角度調整……A-16
テナント情報……B-11
デモ走行……D-15
デモ走行中止……D-15
動画ファイルについて……O-49
盗難多発地点案内……F-7
道路切替……B-10
登録ルート……D-13
道路交通情報……H-11
道路メイン(地図切り替え)……F-2
時計表示……H-4
ドラッグ操作……A-12

## な　行

ナビ設定……F-1

## は　行

パーソナルHPと同期……F-25
ハイウェイモード……B-15, F-6
ハンズフリー……M-1
微調整をする(地図をスクロールする)……B-6
ビットレート……O-46
表示できる施設……C-10
標準モード(録音)……I-2
ピンチ操作……A-12, B-7
フェード・バランス調整……H-44
フェリーを優先……D-18
複数探索……B-11, D-5
プリセット選局(ラジオ)……H-10
フリック操作……A-12, B-5
フロントカメラ映像を表示する……G-6
平均時速設定……F-14
別売品(システムアップ)……O-56
方面看板……F-6
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-13
ボタン消……J-4, L-4
本体情報……E-8

## ま　行

マップコード……C-17, D-4
マルチセッション……O-47
右画面AV……F-4
右画面表示……B-14
メイン画面／右画面の設定をする……F-2
メッセージ表示について……N-21
メニュー画面……A-14
モード切替……H-19
目的地周辺……C-8
目的地セット……B-11
目的地の入れ替え……D-10
目的地の追加……D-8
目的地の変更……D-7
目的地までのルートを探索する……D-2, D-4, D-6
目的地を探す……C-1
文字／数字を入力する……A-18
文字訂正……A-19

## や　行

有料優先(ルート探索条件)……D-3, D-11

## ら　行

ラジオを聞く……H-9
ランダム再生……H-7, H-22, H-33, H-37
ランドマーク表示設定……F-9
リアカメラ映像を表示する……G-13
リアカメラの次回表示ビュー設定……G-18

リア席モニターについて 別売 ……O-42
立体アイコン ……O-22
リピート再生 ……H-7, H-15, H-22, H-33, H-37
ルート案内時の注意点 ……O-6
ルート案内設定 ……F-5
ルート案内をストップ／スタートする ……D-12
ルート学習 ……D-18, D-20
ルート削除 ……D-13
ルート情報 ……B-15, F-5
ルート設定 ……D-2
ルート全表示 ……D-12
ルート沿い ……C-8
ルート探索 ……D-4, D-6
ルート探索条件設定 ……D-18
ルート保存 ……D-13
ルートを変更する ……D-7
レベル1(文字)表示 ……E-2
レベル2(簡易図形)表示 ……E-2
レベル3(地図)表示 ……E-3
ローカルアップデート ……I-7
録音 ……I-1
録音音質 ……I-2
録音方法(自動／手動) ……I-2

## わ 行

ワンセグに切り替え ……K-6

## 数字・アルファベット

3D地図 ……B-3
3D表示の角度調整 ……F-2
AAC ……O-44
BLUETOOTH Audio ……H-26
CD-TEXT情報 ……H-5
CD再生 ……H-5
CD録音設定 ……I-2
CPRM対応 ……O-31
Digital TV(12セグ／ワンセグ) ……K-1
DSP(サラウンドの設定) ……H-46
DVD再生 ……J-1
ecoドライブ ……E-9
ETC ……E-14, G-3, O-23
ETCレーン表示 ……F-5
FM／AM ……H-9
GPS ……B-3
Gracenoteデータベース ……O-29
H.264 ……O-49
internavi情報 ……E-8
internavi設定について ……G-2
internaviルート ……D-2, D-11
iPod／iPhone対応可能機種 ……O-38
iPod再生 ……H-12
JPEG(画像ファイル) ……O-48
miniB-CASカードについて ……O-35
miniB-CASカードを入れる／取り出す ……K-2
MP3 ……O-44
MPEG4 ……O-49
Music Rack ……H-34, I-1
NaviCon ……C-20
QQコール ……M-17
Quick MENU ……B-9, B-10
SDカード ……H-19, O-33
SDカードから地点を登録する ……F-24
SDカードを入れる／取り出す ……A-16
SRS CS Auto(サラウンドの設定) ……H-46
USB ……H-19, O-34
VICS ……E-2
VICS渋滞情報(矢印表示) ……E-3
VICS情報マーク ……E-3
VICSタイムスタンプボタン ……D-14
VRモードディスク ……J-4, O-31
VTR／AUX／HDMI ……L-1
WMA ……O-44